

北海道志

二十四

卷三十四  
物産

東 京 國 書 館

二 五 冊	一 四 号	五 架	三 函	屬	類
-------------	-------------	--------	--------	---	---

023253-024-6

3-144

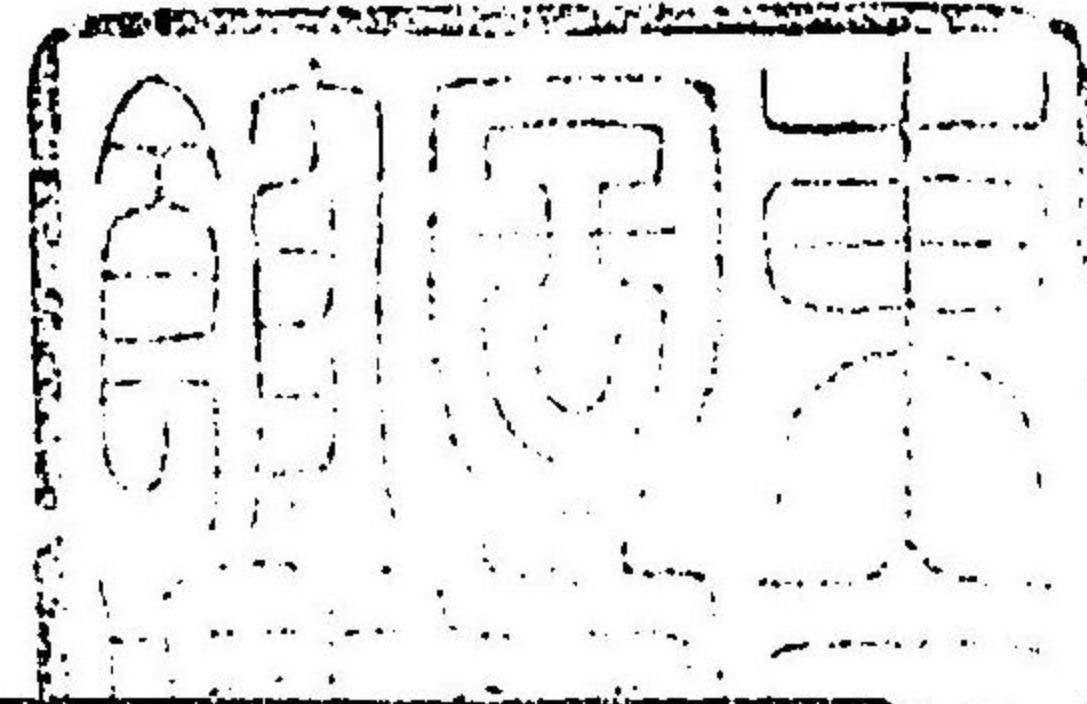
北海道志 開拓使編

大蔵省刊

M17

ADC-0123





北海道志卷之三十四

物産

北地風氣異リト雖モ覆載ノ下生々息マズ飛潜動植森羅萬  
 象古來彙而輯ル者東夷物産志ノ如キ蝦夷草木志料ノ如キ  
 松前志ノ如キ其書亦多矣而テ旁博引證其說未タ迂遠怪僻  
 ナ免レズ今其實ヲ擇ミ此土特ニ産スル所及ヒ人民日用ニ  
 關スル者ハ畧注釋ヲ加ヘ他ノ郡邑公共ノ物ハ唯其名ヲ擧  
 ク其書別ニ備ルヲ以テナリ若夫郡邑移ス所ノ物及ヒ外洋  
 ノ物ト土ニ適シテ常産タル者ハ編シテ遺サス且其部門ヲ  
 建ルニ洋式ニ據リ物産ヲ志ス

動物

獸之部

蝙蝠「カハホリ」二種アリ耳長キ者ヲ長耳蝙蝠ト爲シ  
口上ノ膜馬蹄ニ似タル者ヲ馬蹄蝙蝠ト爲ス 鼯鼠「サネツミ」ハ形

タ小ナリ多ク水邊ニ居リ小蟲ヲ食フ 鼯鼠「アカタマ」方背「クマノシ」オヤビ「土音」ホクニク「他

ニ居リ小蟲ヲ食フ 鼯鼠「アカタマ」方背「クマノシ」オヤビ「土音」ホクニク「他

下月輪ナク毛色一ナラス茶褐色ノ者多シ深林ノ中ニ棲ミ牛馬ヲ食フ

人立シテ走ル甚タ迅速能ク木ニ離リ水ヲ浴ル土人ハ毒箭或ハ彈丸ヲ

以テ之ヲ射リ又其穴口ニ柵ヲ設ケテ刺殺ス若シ其子ヲ捕フレハ婦人

ノ乳汁ヲ以テ之ヲ養ヒ其長ムルニ及ンテ祭ヲ設テ之ヲ殺ス所謂「クマ

ヲクリ」ナリ而後其肉ヲ食ヒ皮ヲ衣ル其勝ヲ「ニシダ」ト稱シ鬮用ニ供ス

凡ソ熊ヲ捕フル四季ニ拘ハラスト雖モ其勝ハ十月ヨリ二月ニ至ル迄

ヲ最良ト爲ス都テ熊ハ秋ニ至レハ好シテ蟻及ヒ糞糞桃葡萄等

ノ果實ヲ採リ又流ニ廻ル所ノ鮭ヲ捕リ食ヒ冬ニ至レハ糞ス 銀鼠「ギ

ソ」方背「シロイタチ」土音「シヤチ」東蝦夷地ニニアリ形動

ニ似テ小ナリ其毛色ハ純白ニシテ夏ハ濃茶褐色ニ變ス 黃鼯鼠「チン」土

ス其形動ニ類シ毛色黃ニシテ柔長ナリ深山ニ産シ樹木ニ離ル大ニ尺餘

水獺「カハツ」土音「イシヤマ」ニ 故ニ鱉魚ニ習アリ毛皮甚々美

サシ毛ヲ拔キ去テ衣服ニ用フ 海獺「ラツ」土音「マツ」イベ「擇捉」近海

ヲ産シ常ニ腹上ニ遊ヒ小魚ヲ食フ其體圓長ニシテ毛竹筒ノ如シ四

足短縮ニシテ腹アリ故ニ其皮方ニシテ長ク毛色暗黒ニシテ光澤アリ

老者ハ白毛ヲ生ヌ皮最モ 狗「イヌ」土音「レ」ニテ其種類内地ノ産ト異ナリ

美ニシテ價ヒ甚々貴シ 豺「ヤマノイヌ」方背「オ」イヌ「土

音」オーセカモイ「形犬ニ似テ 狐「キツ」土音「チ」ロヌ「内地

雜ヘ老者ハ灰色ニ變シ甚々家畜ヲ害ス 狐「キツ」土音「チ」ロヌ「内地

狐黒狐「土音」クンチ「赤」赤「土音」アシ「赤」赤「土音」アシ「赤」赤「土音」アシ

之ヲ名ク斑狐ハ色狸ニ似テ背黒十字ヲ成ス黒狐ハ多ク志古丹島

ニ産シ毛皮深黒ニシテ光澤アリ又赤狐ハ色較赤 狸「タヌキ」方背「ム」ヂナ

ク白狐ハ純白ニシテ毛長シ此ニ種ハ甚々稀ナリ 狸「タヌキ」方背「ム」ヂナ

赤色ナリ頭ロリ尾ニ至リ一條ノ黒帯アリテ甚々斑狐ニ類ス其 膾膈

毛稠密ニシテ柔ナリ故ニ毛衣ニ製スヘシ土人ハ以テ襪ト爲ス 膾膈

獸「オットセイ」土音「オ」子「ウ」形海豹ニ似テ三尺ヨリ五六尺ニ至リ全身背

甚々大ナリ性眼ヲ好ミ群ヲナシテ浮眼シ其中一頭眼ヲス船來ルアレ

蝙蝠「カハホリ」二種アリ耳長キ者ヲ長耳蝙蝠ト爲シ  
口上ノ膜馬蹄ニ似タル者ヲ馬蹄蝙蝠ト爲ス 鼯鼠「サネツミ」ハ形

タ小ナリ多ク水邊ニ居リ小蟲ヲ食フ 鼯鼠「アカタマ」方背「クマノシ」オヤビ「土音」ホクニク「他

ニ居リ小蟲ヲ食フ 鼯鼠「アカタマ」方背「クマノシ」オヤビ「土音」ホクニク「他

下月輪ナク毛色一ナラス茶褐色ノ者多シ深林ノ中ニ棲ミ牛馬ヲ食フ

人立シテ走ル甚タ迅速能ク木ニ離リ水ヲ浴ル土人ハ毒箭或ハ彈丸ヲ

以テ之ヲ射リ又其穴口ニ柵ヲ設ケテ刺殺ス若シ其子ヲ捕フレハ婦人

ノ乳汁ヲ以テ之ヲ養ヒ其長ムルニ及ンテ祭ヲ設テ之ヲ殺ス所謂「クマ

ヲクリ」ナリ而後其肉ヲ食ヒ皮ヲ衣ル其勝ヲ「ニシダ」ト稱シ鬮用ニ供ス

凡ソ熊ヲ捕フル四季ニ拘ハラスト雖モ其勝ハ十月ヨリ二月ニ至ル迄

ヲ最良ト爲ス都テ熊ハ秋ニ至レハ好シテ蟻及ヒ糞糞桃葡萄等

ノ果實ヲ採リ又流ニ廻ル所ノ鮭ヲ捕リ食ヒ冬ニ至レハ糞ス 銀鼠「ギ

ソ」方背「シロイタチ」土音「シヤチ」東蝦夷地ニニアリ形動

ニ似テ小ナリ其毛色ハ純白ニシテ夏ハ濃茶褐色ニ變ス 黃鼯鼠「チン」土

ス其形動ニ類シ毛色黃ニシテ柔長ナリ深山ニ産シ樹木ニ離ル大ニ尺餘

水獺「カハツ」土音「イシヤマ」ニ 故ニ鱉魚ニ習アリ毛皮甚々美

サシ毛ヲ拔キ去テ衣服ニ用フ 海獺「ラツ」土音「マツ」イベ「擇捉」近海

ヲ産シ常ニ腹上ニ遊ヒ小魚ヲ食フ其體圓長ニシテ毛竹筒ノ如シ四

足短縮ニシテ腹アリ故ニ其皮方ニシテ長ク毛色暗黒ニシテ光澤アリ

老者ハ白毛ヲ生ヌ皮最モ 狗「イヌ」土音「レ」ニテ其種類内地ノ産ト異ナリ

美ニシテ價ヒ甚々貴シ 豺「ヤマノイヌ」方背「オ」イヌ「土

音」オーセカモイ「形犬ニ似テ 狐「キツ」土音「チ」ロヌ「内地

雜ヘ老者ハ灰色ニ變シ甚々家畜ヲ害ス 狐「キツ」土音「チ」ロヌ「内地

狐黒狐「土音」クンチ「赤」赤「土音」アシ「赤」赤「土音」アシ「赤」赤「土音」アシ

之ヲ名ク斑狐ハ色狸ニ似テ背黒十字ヲ成ス黒狐ハ多ク志古丹島

ニ産シ毛皮深黒ニシテ光澤アリ又赤狐ハ色較赤 狸「タヌキ」方背「ム」ヂナ

ク白狐ハ純白ニシテ毛長シ此ニ種ハ甚々稀ナリ 狸「タヌキ」方背「ム」ヂナ

赤色ナリ頭ロリ尾ニ至リ一條ノ黒帯アリテ甚々斑狐ニ類ス其 膾膈

毛稠密ニシテ柔ナリ故ニ毛衣ニ製スヘシ土人ハ以テ襪ト爲ス 膾膈

獸「オットセイ」土音「オ」子「ウ」形海豹ニ似テ三尺ヨリ五六尺ニ至リ全身背

甚々大ナリ性眼ヲ好ミ群ヲナシテ浮眼シ其中一頭眼ヲス船來ルアレ

呼テ群眼ヲ驚覺ス之ヲ捕ル者其浮眼スルヲ驚ヒ急ニ狐尾ヲ振フ眼

海豹

「アザラシ」土音「ツ」カ「大」サ「五」六「尺」ニシテ頭圓ク體長

シ以テ寒氣ヲ防ク海豹「アザラシ」土音「ツ」カ「大」サ「五」六「尺」ニシテ頭圓ク體長

毛短ク赤黒色ニシテ耳小ク鬚黒シ其大ナル者一丈餘其背ハ燈火ニ用

フヘシ其肉ハ鯨ニ優レリ其皮ヲ細斷シテ以テ網ニ代フヘク又腫ニ製

シ以テ寒氣ヲ防ク海豹「アザラシ」土音「ツ」カ「大」サ「五」六「尺」ニシテ頭圓ク體長

毛短ク赤黒色ニシテ耳小ク鬚黒シ其大ナル者一丈餘其背ハ燈火ニ用

フヘシ其肉ハ鯨ニ優レリ其皮ヲ細斷シテ以テ網ニ代フヘク又腫ニ製

シ以テ寒氣ヲ防ク海豹「アザラシ」土音「ツ」カ「大」サ「五」六「尺」ニシテ頭圓ク體長

毛短ク赤黒色ニシテ耳小ク鬚黒シ其大ナル者一丈餘其背ハ燈火ニ用

フヘシ其肉ハ鯨ニ優レリ其皮ヲ細斷シテ以テ網ニ代フヘク又腫ニ製

シ以テ寒氣ヲ防ク海豹「アザラシ」土音「ツ」カ「大」サ「五」六「尺」ニシテ頭圓ク體長

毛短ク赤黒色ニシテ耳小ク鬚黒シ其大ナル者一丈餘其背ハ燈火ニ用

フヘシ其肉ハ鯨ニ優レリ其皮ヲ細斷シテ以テ網ニ代フヘク又腫ニ製

シ以テ寒氣ヲ防ク海豹「アザラシ」土音「ツ」カ「大」サ「五」六「尺」ニシテ頭圓ク體長

毛短ク赤黒色ニシテ耳小ク鬚黒シ其大ナル者一丈餘其背ハ燈火ニ用

フヘシ其肉ハ鯨ニ優レリ其皮ヲ細斷シテ以テ網ニ代フヘク又腫ニ製

シ以テ寒氣ヲ防ク海豹「アザラシ」土音「ツ」カ「大」サ「五」六「尺」ニシテ頭圓ク體長

毛短ク赤黒色ニシテ耳小ク鬚黒シ其大ナル者一丈餘其背ハ燈火ニ用

フヘシ其肉ハ鯨ニ優レリ其皮ヲ細斷シテ以テ網ニ代フヘク又腫ニ製

シ以テ寒氣ヲ防ク海豹「アザラシ」土音「ツ」カ「大」サ「五」六「尺」ニシテ頭圓ク體長

毛短ク赤黒色ニシテ耳小ク鬚黒シ其大ナル者一丈餘其背ハ燈火ニ用

フヘシ其肉ハ鯨ニ優レリ其皮ヲ細斷シテ以テ網ニ代フヘク又腫ニ製

シ以テ寒氣ヲ防ク海豹「アザラシ」土音「ツ」カ「大」サ「五」六「尺」ニシテ頭圓ク體長

毛短ク赤黒色ニシテ耳小ク鬚黒シ其大ナル者一丈餘其背ハ燈火ニ用

フヘシ其肉ハ鯨ニ優レリ其皮ヲ細斷シテ以テ網ニ代フヘク又腫ニ製

シ以テ寒氣ヲ防ク海豹「アザラシ」土音「ツ」カ「大」サ「五」六「尺」ニシテ頭圓ク體長

毛短ク赤黒色ニシテ耳小ク鬚黒シ其大ナル者一丈餘其背ハ燈火ニ用

フヘシ其肉ハ鯨ニ優レリ其皮ヲ細斷シテ以テ網ニ代フヘク又腫ニ製

華金鼠

「シマキツミ」土音「カシイカリ」形栗鼠ニ似テ較小ナリ全鼠

ハタケ子ツミ

形小ニシテ田野ニ棲ミ作物ヲ害ス 兔 「ウサギ」土音「イシヤギ」土人

鹿

「シカ」方言「カノシ」 羊 明治九年支那種ヲ東京開拓使青山試驗場ヨリ

牛

馬ノ注ニ 馬 寶殿十一年幕府吏三橋藤右衛門南部

馬

馬六十匹牛四十頭ヲ購ヒ移シテ騎乗

海豚

「イルカ」土音「イルカ」

サカマ

「イルカ」土音「イルカ」

鯨

「クジラ」方言「エビス」多ク西北海ニ來リ

鳥之部

蒼鷹

「オホタカ」土音「チリコイキ」鷹ノ總稱ナリ雄ハ小ニシテ兄ト稱シ雌ハ

隼

「ハヤブサ」頭背蒼黒胸腹灰白ニシテ赤色ヲ帯ヒ性甚

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

鴉

「カウ」土音「カウ」

木鳥ノ一種ニシテ大サ殆ント鴉ノ如ク全身黒クシテ頭部紅ナリ嘴長クシテ直シ木皮ヲ啄キテ出シ舌ヲ以テ刺シ食フ舌ハ甚タ長ク嘴ニ鉤アリ嘴ニ粘液ヲ貯ヘ以テ蟲ヲ捕フニ便ナラシム又脚指ハ前ニ二指後ニ二指アリテ皆剛爪アリ以テ能ク樹ニ上ル

「オホアカゲラ」啄木鳥ノ一種ニシテ鴨ヨリ較小ナリ翼黒ク白斑アリ頭紅胸及尾皆白腹黄赤色其性黒鷲ニ同シ **赤鷲** 「アカゲラ」大赤鷲ヨリ較小ナリ形状及ヒ羽毛異ナルヲナシ唯尾上白色ナシ **小鷲** 「コゲラ」其大雀ノ如シ啄木鳥ノ

「ヤマゲラ」他邦ノ「アホゲラ」ニ甚似タリ頂紅背緑ニシテ腹灰色翅黒綠色ニシテ白アリ **アリスイ** 土音「イシヨキ」脚啄木鳥ニ似テ嘴ハ較細ク雀ヨリ較大シテハクラ「土音」ドベンペラ「イワマ

ニシテ羽毛茶褐黒白ノ細紋アリ **燕** 「ツバメ」土音「ドベンペラ」内ノ産ト異ナルヲナシ **キツバメ** 燕ノ一種ニシテ頬赤ク尾上及ヒ腹白シ多ク海岸巖石ノ間ニ棲ム **スナムグリツバメ** 大

逆常ノ燕ノ如ク全身淺黒色ナリ多ク河崖ニ穴居ス **雨燕** 「アマツバメ」形燕ヨリ大ニシテ羽翼長如シ全身黒色美麗ニシテ咽及ヒ尾木白シ曇天多ク飛行ス故ニ此名アリ **蚊母鳥** 「カスロドリ」方言「ヨカカ」

ク廣シ嘴縁ニ硬毛アリ全身羽毛柔ニシテ鼻ノ如ク蕪蕪飛行シテ飛遊ワ食フ **黄鶺鴒** 「キセキレイ」土音「バイ」シテ頭背灰色翅黒ク腹黄ナリ尾長クシテ黒白雜毛アリ歩行常ニ搖ク水邊ニ在リテ小蟲ヲ食フ **背黒鶺鴒** 「セグロセ

言「バイ」カチリ」形黄鶺鴒ニ異ナラスシテ較大ナリ頭頸及ヒ背ハ黒色翅尾黒白ヲ雜ヘ腹白シ **キバシリ** 一名「ゴジウ

「ウツロヒス」土音「ボケチ」 **鶺鴒** 「ミソサ」 **伯勞** 「モノゴマ」鶺鴒ニ似テ全身茶褐色

**タキ** **黄鶺鴒** 「キビ」 **小燕** 「コツバメ」形黄鶺鴒ニ似テ東南海邊ノ原野ニ棲ム甚稀ナリ **大翠雀** 「オホル

鶺鴒ニ似テ較大ナリ背藍色ニシテ美ナリ尾黒ク腹白シ **十二紅** 「ヒレンシヤク」頭ニ毛冠アリ全身

ア端紅ナリ夏ハ深林ニ棲ミ冬ハ群ヲナシテ村落ニ來リ好シテ「ホヤ」寄生植物一種ノ實ヲ食フ **十二黄** 「ヒレンシヤク」

シ唯尾端鵝「ツツミ」秋末多來ル黄色ナリ **鵝** 其種類甚タ多シ **カハガラス** 形鶺鴒ニ似テ較肥大ナリ

色ヲ帶フ冬日來リ河邊ニ居リ遊ク水ニ没ス **白鳩鳥** 「シロウカ」土音「フクサチリ」 **小陵鳥** 「コガ

ナガ 方言「エナガ」他ノ産ト大同小異ニシテ小陵鳥ヨリ較小ナリ頭白ク尾長シ好シテ水松ノ實ヲ啄ム **雲雀** 「ヒバリ」土

音「エナガ」 **畫眉鳥** 「ホ、シロ」 **蒿雀** 「ア、ツ」 **交嘴** 「イス」 **雀** 「ス、ハ、ソ」土音

「イコチ」雄ハ頭甚赤ク雌ニ似テ如キ黒毛ナシ雌ハ形較細ク頭赤褐色ニシテ淡褐色ノ肩アリ多ク海岸ニ産ス **蠟嘴鳥** 「シマ

「拙老婆」 **カワラヒワ** **金翅雀** 「ヒ」 **花鷄** 「アト

「ヤマセウビン」一名「ミズコロドリ」方言「ナンパン」チヤ「形魚狗ニ似テ大ナリ全身赤色ニシテ羽翼ハ少ク藍色ヲ雜ヘ嘴ハ深紅

ニシテ直シ木皮ヲ啄キテ出シ舌ヲ以テ刺シ食フ舌ハ甚タ長ク嘴ニ鉤アリ嘴ニ粘液ヲ貯ヘ以テ蟲ヲ捕フニ便ナラシム又脚指ハ前ニ二指後ニ二指アリテ皆剛爪アリ以テ能ク樹ニ上ル

「オホアカゲラ」啄木鳥ノ一種ニシテ鴨ヨリ較小ナリ翼黒ク白斑アリ頭紅胸及尾皆白腹黄赤色其性黒鷲ニ同シ **赤鷲** 「アカゲラ」大赤鷲ヨリ較小ナリ形状及ヒ羽毛異ナルヲナシ唯尾上白色ナシ **小鷲** 「コゲラ」其大雀ノ如シ啄木鳥ノ

「ヤマゲラ」他邦ノ「アホゲラ」ニ甚似タリ頂紅背緑ニシテ腹灰色翅黒綠色ニシテ白アリ **アリスイ** 土音「イシヨキ」脚啄木鳥ニ似テ嘴ハ較細ク雀ヨリ較大シテハクラ「土音」ドベンペラ「イワマ

ニシテ羽毛茶褐黒白ノ細紋アリ **燕** 「ツバメ」土音「ドベンペラ」内ノ産ト異ナルヲナシ **キツバメ** 燕ノ一種ニシテ頬赤ク尾上及ヒ腹白シ多ク海岸巖石ノ間ニ棲ム **スナムグリツバメ** 大

逆常ノ燕ノ如ク全身淺黒色ナリ多ク河崖ニ穴居ス **雨燕** 「アマツバメ」形燕ヨリ大ニシテ羽翼長如シ全身黒色美麗ニシテ咽及ヒ尾木白シ曇天多ク飛行ス故ニ此名アリ **蚊母鳥** 「カスロドリ」方言「ヨカカ」

ニシテ花斑鳥「カブトドリ」魚狗ノ一種ニシテ大サ鳩ノ如ク全身黒白ノ花斑アリ頭上毛冠ヲ戴キ嘴長ク黒シ白頭翁

シママムク形白頭翁ヨリ小ニシテ頭白ク微褐ヲ帯ヒ嘴赤褐鴨「ヒヨドリ」イソヒヨドリハ形鴨ニ似テ尾較短ク背胸鳥「カラス」土音

磯鴨「ヒヨドリ」イソヒヨドリハ形鴨ニ似テ尾較短ク背胸鳥「カラス」土音

ヤマカケス土音「バルケウ」形「カケス」ニ同シ唯頭ニ白毛ヲ雜ヘ松鷄

雌鳩「キジバト」土音青鷓「アホ」鶴「タン」土音鶴「サ」土音鶴「マ」土音白

鷺「シラサギ」土音青鷺「アホ」サンカノゴ井方音「ヤチベ

獨春鳥「ロシゴ井」土音朱鷺「トキ」方音秧鷄「タビ」緋秧

鷄「ヒタヒタ」秧鷄ノ類ニシテ方目「バケリ形千鳥ニ似テダゲリ脚較短ク背黒

ク緑光ヲ帯ヒ頭上黒色ノ毛冠アリ腹白

ク翼尾胸皆黒クシテ尾ノ基茶褐色ナリ

ハ深茶褐色ナリ咽及ヒ腹ハ灰色ニシテ

茶褐ノ斑アリ嘴長ク下ニ向テ彎曲ス

ナ嘴長ク

シテ直シヘラシギ形較小サク嘴頭扁ソリハシチドリ土音「ヒンベ

ノ通稱「ボトシギ」ヨリ大ニ瘦身高脚嘴細長

ニシテ較上ニ曲リ雌ハ雄ヨリモ形小ナリ

ク脚細ク翼尖リ指間少ク蹠アリ腹白ク背灰色

ニシテ白色ノ脚アリ蹠赤キニ山テ此名アリ

似テ脚

青シ胸黒鳴「ム子」アロシギ形「ケリ」ニ似テ較小ナリ頭背皆茶褐色ユ

リカモメ方音此屬ヲ凡テ「ゴ」ト名ク土音「カヒ」白鷗「シロカ海猫

「ウミ子」コ「鷗」ノ一種ナリ背灰色ニシテ尾黒ク

其他ハ白シ野猫ニ似ルヲ以テ故ニ此名アリ

信天翁「アホウドリ」一名

大ニシテ赤ク美麗ナリ故ニ名ク「エトヒリカ」ハ土音

ニシテ美嘴ノ鏡ナリ）擇捉島及ヒ東北諸島ニ産ス

カシノリガモ黒免ニ似テ楕圓及ヒ肩ノキングロハジロ形大サ黒

背ハ黒ク茶褐色ヲ帯ヒ胸

ハ茶褐色腹ハ灰色ナリ

小鳧 「コガモ」カ 尾長鳧 「ツナガ、モ」咽喉皆白ク頭背黒

ヒドリ 「ヒドリ」 鴛鴦 「ワシ」 鳧 「マカ」 カルカ

雁 「マガン」 黒雁 「コクガン」 善知鳥 「ウツ」

カツラガン 「カツラガン」 鴿 「ハクテウ」

オハム 「オハム」 善知鳥 「ウツ」

ウミカラス 「ウミカラス」 ヲガモ 「ウミカラス」

海雀 「ウミスズメ」 擇捉海

雀 「ウミスズメ」 雀 「ウミスズメ」

魚之部

魚之部

鱸 「スベキ」 藻魚 「モイワ」

アブラコ 「アブラコ」

ホツケ 「ホツケ」

ハゴトコ 「ハゴトコ」

火魚 「カナガ」 トクビレ 「トクビレ」

青花魚 「サメ」 金鎗魚 「マカ」

ケンサキナイラキ 「ケンサキナイラキ」

棘鬚魚 「タビ」 桃花魚 「ウケ」 杜父魚 「カヂ」 福

魚 「イナ」

鮭 「サケ」 鱒 「マス」 アメマス 「アメマス」

ヤマベ 「ヤマベ」 イワナ 「イワナ」 イトウ 「イトウ」

鮭 「サケ」 鮎 「アサギ」 キユリ 「キユリ」

鮭 「サケ」 鮎 「アサギ」 キユリ 「キユリ」

鮭 「サケ」 鮎 「アサギ」 キユリ 「キユリ」

鮭 「サケ」 鮎 「アサギ」 キユリ 「キユリ」

鮭 「サケ」 鮎 「アサギ」 キユリ 「キユリ」

鮭 「サケ」 鮎 「アサギ」 キユリ 「キユリ」

網建網等ヲ以テ之ヲ捕ヘ腹ヲ割キ鯨白子ヲ去リ其肉ヲ乾シテ食  
食用ニ供シ又絞リ粕トナシテ肥料ニ供ス其油ハ燈火ニ用フヘシ  
シ土音「ボチカ」土音「トッヒカ」他邦ノ「ワカサシユシヤモ」  
形「チカ」ニ似  
シセブ」  
一月ノ初多ク鮫川ニ上リ鮫  
ヲ産シ十日ノ後悉ク去ル  
ワラズカ 形鯨魚ニ似テ其體惡四月ノ末  
室蘭近傍ノ海ニ群來シ鮫ヲ産  
シ土人犬ヲシテ之ヲ捕ラ  
大口魚 「タラ」土音「ヘレク」シ後志國ノ海中最  
モ多ク産シ冬季ハ旬種ヲ以テ之ヲ  
捕獲シ或ハ乾製或ハ鹽藏シテ内地ニ  
コマイ 形大口魚ニ似テ小ナリ十  
送ル又其肝臟ヲ以テ肝油ヲ製スヘシ  
捕リ絞粕トシテ肥料ニ供ス  
板魚 「ヒラ」土音「シムシベ」  
「カレ」土音  
「タシ」土音  
「タカ」  
印魚 「コバン」イ  
「キ」一名「ソ  
ロバン」サメ又「コバン」サメ頭上  
魚虎 「ハリ」フグ一名  
河豚 「フク」土音「イル  
シカチエツ」  
楢圓ノ肉ヲ燻キ以テ物ニ著ク

翻車魚 「マン」ゴウ「方音」キナ「ボ」又「キナ」ン「ボ」一名「ウキ」シ形圓ク上下ノ  
鰭長ク翅ノ如シ肉潔白ニシテ油多ク美味ナリ土人甚之ヲ嗜  
ム又其油ヲ飯ニ混シテ食ス其最大ナル  
鱒魚 「カワ」ハキ「方  
音」チ「ツ」  
鱒魚 「テウ」  
サ「方音」  
者ハ丈餘ニ至ル長萬部海ニ最モ多シ  
ツカサメ」形鯨ニ似テ背ノ上鱗鱗斑ヲ爲ス多ク石狩川ニ産ス其皮ハ往昔  
用テ刀鞘ヲ飾ル故ニ「ツカサメ」ノ名アリ其淨鱗以テ魚膠ヲ製スヘク又  
其鱗ハ鹽製シテ以テ露國人嗜ム所ノ「カバヤ」ツ作ル  
ベシ其味ハ牛肉ニ似タリ英人稱シテ川牛肉ト云  
鮫 「サメ」土音「イハ  
シヤル」コル「ベ」  
鱒

ヤツメウナギ 方音「ヌ」ク  
鯽 鰻 タナゴ 鮒

此他猶ホ數種ノ魚アレモ多ク内地ノ産ニ異ナルヲナシ  
故ニ畧ス

爬蟲之部

鼈 五年前秋高島ノ海ニテ此種ノ海龜ヲ得タリ其大五尺餘甲ニ龜甲ナク  
縦ニ六條 蝮蛇 「マ」ムシ「土音」ト  
青蛇 「ア」ホ「ダイ  
シ」ヨウ  
ヒバカリ  
黒蛇 「ク」ロ  
土音「バ」シク  
シ「マ」ナ「メ」ラ  
土音「フ  
ルカモイ」  
ゴ「フ」ヨ

此他トカゲ、アカガヘル、アマガヘル等ノ數種アレモ内地  
ノ産ト異ナルヲナシ故ニ畧ス

多節動物之部

エボカニ 方音「ガ」ニ「土音」ムリ「カラ」海蟹ノ一種ニシテ加賀越中邊ニ産ス  
ルモノト異ナルヲナシ其大ナル者右脚ヲ肩ニ荷ヒ左脚地ニ  
垂ル、者アリ附毛邊最多ク  
鬼蟹 「ワ」ニ「ガ」ニ「全」身「鏡  
状」ノモノヲ生ス  
澤蟹 「サ」ハ  
ガ「ニ」土音「タ」ビ「シ」ツ「ベ」コ「ル」  
「ベ」形海老ニ似テ缺アリ多ク河澤ニ居  
ル頭ニ珠アリ「フ」タ「リ」カ「ン」キ「リ」ト名ケ藥品ニ用フルモノナリ  
縞海老

北 海道 志 卷 三 十 四

七



「シマエビ」土音「ホロカア」レケ「シラタエビ」ニ似シヤコ 方音「カサエビ」

「ハチ」土音「ア」蝶「ア」土音「マ」蛾 其類多シ和名群カナラサ 蠅「ハ」蚊「カ」土音「シ」

「ブ」土音「イ」蛇「ア」土音「ウ」サイカチムシ テントムシ 天

牛 兜蟲ノ一種ニシテ兜長ク頭 莞青「ハ」ケンコロムシ 螢「ホ」

「シ」土音「ニ」金龜子「カ」象鼻蟲「ソ」水爬蟲「ド」飛蝗「ハ」

「ミ」土音「キ」シモキ 一名「カ」タキマカケ「其」形「肩」衣ヲ著タ 水爬蟲「ド」

魚類ニ寄アリ 蚤「ア」土音「ミ」土音「シ」土音「ダ」ニ 飛蝗「ハ」

來アリ近年十勝ノ原野ニ多ク發生シ群ヲナシテ飛ヒ大ニ作物ヲ害ス 佐

「ク」土音「リ」土音「ト」コウロギ 蟋蟀「キ」土音「ベ」土音「ケ」土音「ラ」

「ト」土音「カ」土音「タ」シコカケユイ 軟肉動物之部

蛸「タ」土音「ア」鳥賊「イ」土音「マ」イロサザイ 土音「モ」

外面淡綠色ニ茶褐ノ旋 條アリ其味美ナラス テツポラ 方音「ツ」

近海多ク産ス クボカイ 一名「カ」シカラガイ「形」キサゴニ似テ較大ナリ且巻留

ノ如シ ナトコツメタ 通帯ノツメタ貝一名「ツ」マガイ「ロ」 田麻「タ」

蝸牛「カ」タツ シマフトギリ 土音「タ」シマコリ「タ」ケノコガイ「ノ」

色ノ條アリ多ク 石決明「ア」他ノ産ロリ小ナリ殼薄ク且淺シ西

枝幸近海ニ産ス 片貝ノ一種ニシテ背ノ上甲アリ重疊魚鱗ノ如シ腹下肉アリ

イ 其味石決明ニ劣レリ必ス石決明ト産處ヲ同シクセスト云 海扇「ホ」

「ア」土音「レ」ケ「ア」ツケ「室」隔近海ニ多シ又禮文ニ産ス「ハ」シラ「ノ」

味「タ」イ「ラ」カ「イ」ニ似テ甚美ナリ殼ノ大ナルモノ以テ物ヲ殻ルヘシ キン

チヤクガイ 方音「バ」テ「貝」海扇ノ一種ニシテ殼老婦 牡蠣「カ」

ニ種アリ長牡蠣ノ大ナル者ハ其殼尺餘ニ至 淡貝「カ」

「ロ」ヨリ「カ」イ「方」音「シ」ニ「リ」カ「イ」形「タ」イ「ワ」カ「イ」ニ似

「イ」蛤仔「ア」サ「リ」土音「シ」土音「ミ」土音「ビ」文蛤「ハ」

如ク赤色ニシテ洗アリ岩石ニ著 石竊窳「ホ」土音「ト」

射形動物之部

海鼠<sup>「ナマ」</sup> 海膽<sup>「ウニ」</sup> マンジュウウニ<sup>「ウニ」</sup> 殼、鹹ッ生セス灰色ハスノ

ハガイ<sup>「マシ」</sup> ニシテ形遠蕨ノ如シヒトデ<sup>「カ」</sup> ノ如クニシテ五出ナリ又絲卷ヒ

トデ<sup>「ケ」</sup> カラリ<sup>「ト」</sup> 稱スルモノアリ「イ」 タヤモミ<sup>「シ」</sup> ノ葉ニ似タリ其表ハ藍色ニシテ赤斑アリ裏面ハ柑色ナリ テヅルモヅル

「ロ」ト<sup>「ア」</sup> ノ一種ニシテ射出スル所ノ五枝恰モ莖ノ如シ

此他動物甚タ多シト雖モ多クハ和名未タ詳カナラス故

ニ畧ス

植物

第一顯花植物部

雙子葉多瓣花植物

毛茛科

大蓼<sup>「セン」</sup> ニシテ<sup>「サウ」</sup> 函館<sup>「ク」</sup> クサボタン<sup>「エ」</sup> エゾハンシヤウヅル<sup>「中」</sup> 中ニ

生ス莖草ニシテ女萎(ポタンブル)ノ如ク長大ナラス全體毛茸アリ葉ハ全縁卵圓ニシテ尖頭夏月葉腋ヨリ花梗ヲ抽ルニ三寸中間莖葉對生ス大ニシテ三尖梗頂一花ヲ下垂ス形「ハン」シヤウヅルニ似テ較小通常四瓣(萼)其外面暗褐ニシテ紫色ヲ帶ヒ又同色ノ毛アリ内面ハ淡褐色毛ナシ形卵圓ニシテ頂尖リ外ニ銳山ス周邊白毛アリ實カラマツサウ<sup>「ワ」</sup> ヲ結フ稠密ニハ「ハン」シヤウヅルノ如ク長美ナラスヒメイチゲ<sup>「マ」</sup> ヲナ<sup>「イ」</sup> 土音「アリ」ツコ<sup>「山」</sup> 中陰地ニ生ス六月花開ク「ノ」カラ<sup>「マ」</sup> ヲツ<sup>「ア」</sup> キカラマツ<sup>「ツ」</sup> ノ兩種アリ又札幌邊山野ニ多ク生ス

側金盞花<sup>「フ」</sup> クジニ<sup>「サ」</sup> ウ<sup>「ウ」</sup> 方言「マン」サク<sup>「土」</sup> 音「ク」カ<sup>「ナ」</sup> リ

マツ<sup>「ウ」</sup> メバチモ<sup>「バ」</sup> イ<sup>「カ」</sup> ヲ<sup>「モ」</sup> 池沼中ニ生ス葉水中ニアリ藻ノ如ク六七月水上ニ花開ク白色ニシテ五瓣ナリ

ヒキンバウゲ<sup>「バ」</sup> 異濕ノ地ニ生ス毛茛<sup>「キ」</sup> ン<sup>「バ」</sup> ウ<sup>「ゲ」</sup> 似テ莖葉大抵三裂每裂楔形ニシテ

缺刻鋸齒アリ葉莖共ニ少ク毛茸アリ花ハ<sup>「リ」</sup> ウ<sup>「キ」</sup> ン<sup>「ク」</sup> ワ<sup>「リ」</sup> 土音「ブ」イ

毛茛花ニ似テ大黄色光澤アリ毒草ナリ<sup>「シ」</sup> ラ<sup>「子」</sup> ア<sup>「フ」</sup> ヒ<sup>「ト」</sup> 方白山牡丹

多生ス四五五月黃花ヲ開ク土人根ヲ糧食トシ<sup>「シ」</sup> ラ<sup>「子」</sup> ア<sup>「フ」</sup> ヒ<sup>「ト」</sup> 又山芍藥山

中溪間ニ生ス五月花開ク四瓣 藤花色ニシテ大頗ル美ナリ **黄連**「セリバウレン」長高部郡 ヤマテ

**ダマキ** 土音「ニセウ」陸叢ニ生ス六月花開ク美似ナリ **牛扁**「レイジンサ

コマン」山中陰地ニ生ス廣尾保禮利山牟ノ間處々ニア **草烏頭**「トリカ

リ小樽山中ニモ産ス皆黄白色ニシテ殊ニ肥大者アリ

言「ブス」土音「シユルク」又「セタシユルク」山中ニ生ス莖高六七尺剛強其葉

刻缺淺短ニシテ厚ク深綠色ナリ秋莖梢枝ヲ分チ總狀花ヲナシテ深紫

色ノ花ヲ著ク一種濕地ニ生シ莖弱ク微ク莖延スル者アリ其花淡紫莖

ニ著クト莖ヲ粗ナリ所謂「ハナカツラ」ナラン又一種葉小ニシテ缺刻深

ク分裂纖長花ハ總狀花ヲナシ密著ス此細葉烏頭「ホソバノトリカブト」

即チ土人「ボンシユルク」ト稱スル者ニシテ土人其根汁ヲ製シテ射罔

トナス其毒性ノ劇烈ナル巨熊ト雖モ一箭ノ下ニ斃ル土人根ヲ採ルニ

晩秋已後ヲ以テス又根ノ其不其ヲ撰ムニ其根ヲ咬テ應アレハ其汁膏

ヲ製シテ射罔トス又白ラ其製藥ヲ舌上ニ置テ之 **ルイエフシヨウマ**

又「エゾシヨウマ」土音「ムネバ」又「ワラツ」又「シユトマカ」深山陰地ニ生ス五

月花開ク土人根ヲ採リ水煎シ服ス心痛ヲ治スルト云秋月紫黑色ノ鱗

果ヲ綴ル **サラシナシヨウマ** 又「クロシヨウマ」溪洞陰 **草芍藥**「ヤマ

毒アリ タヤク」土音「ホラフ」山野林中ニ自生ス濃紅花ノ者最モ多シ札幌山中白

花ノ者稀ニアリ紅花ニ比スレハ稍大ニシテ愛スヘシ根ハ藥品ニ供ス

土人用テ胸 痛ヲ治ス

木蘭科

辛夷

「ヨブシ」方言「ロキヤツク」土音「ワマウク」シニ又「ワトフケ」ニ山野共ニ自

生アリ其高大ナル者ハ五六丈ニ至ル木質白色正理美密ニシテ柔韌

ナリ屋柱及ヒ薪柴ト爲スヘシ方俗花ヲ採リテ **浮爛羅勒**「ボノキ」土

諸病ヲ治ス土人此木ヲ飯ヒ其他小細工ト爲ス

「山野共ニ生ス高凡六七丈木材以テ印板刀鞘木履其

他器物ヲ作りテ最モ佳ナリ土人葉ヲ以テ梳ヲ作ル **北五味子**「マ

ブサ」十勝土音「レンブ」ニハツタ」幌別給 **カツラ** 土音「ラン」陰濕ノ地ニ生

柄「レンブ」アバツチ」山中階段等ニ生ス

ノ上一里ニ巨材多シ當道落葉喬木中巨大ワ成ス「カツラ」ニ較フル者ナ

シ其高十餘丈ニ至ル木材淡黄或ハ白色ノ者アリ質甚硬カラス木理細

直粘カアリ踏建箇及ヒ造船ニ適ス器具ヲ作りテ雅致アリ一種方俗「ロ

ガツラ」ト稱スル者アリ木質新條共ニ紅色ワ帶フ故ニ名ク床板建具其

木通科

ミツバアケビ

方言「アケビ」函館近 傍叢林中ニ生ス

伏牛花科

小葉

「メギ」又「コトリ」トマラス」函館邊ニ生ス山民 **伏牛花**「トリトマラス」又

館管下山中ニ多シ五六月花開ク  
ルイエフボタン 山中陰地ニ生  
ス六月花開ク  
羊藿 「イカリ」  
山荷葉 「サンカエフ」  
山谷ニ生ス

睡蓮科

萼 「ジュンサイ」又「ヌナハ」渡島國萼菜沼長  
萬部等ニ産ス嫩葉ヲ採テ食用トス  
萍蓬草 「カハホ子」土音「カバト」水  
澤河邊ニ産ス三石邊土  
人根ヲ煮  
睡蓮 「ロウジクサ」沼澤ニ  
テ食ス

罌粟科

罌子粟 「クシ」天明八年ヨリ寛政二年ノ間始  
テ有珠地方ヘ播種ス成熟可ナラス  
白屈菜 「クサノソウ」路傍土壩  
等ニ生ス莢莢ヲ斷レ  
ハ黄汁ヲ擠ス洗ニ鹽ヲ効  
荷包牡丹 「ケマンサウ」内地ヨリ移裁  
コマ  
クサ 札幌山中  
延胡索 「エンゴサク」方音「ケコモ」土音「トマ」陰林ニ生ス四  
五月花開ク圓莢細莢ニ種アリ其根共ニ塊アリ  
土人漁ヲ暇乾シ食ニ充ツ其味慈姑  
エゾキケマン 土音「カイ」又「チシス」  
ニ似テ淡ク苦味ナシ藥用ニ堪ヘス  
五月花  
開ク

十字花科

ミヅタガラシ 溝澗淺水中ニ生ス莢  
風花菜 「スカシタゴボウ」土音「ケ  
ムカシ」昇濕ノ地ニ生ス

芥菜 「ヤマガラシ」又「ミヤマガラシ」多  
山中石間  
南芥菜 「ハタザホ」鏡函余市  
碎米菜 「タチツケバナ」昇濕ノ地ニ  
ニ生ス  
ハマナヅナ 「ロメタチツケバナ」海邊  
コンロンサウ 山中樹陰  
ニ生ス六  
月花  
開ク  
葎 「イメナツナ」土音「ダイ  
イワナヅナ」山中石間ニ生ス葎ノ類  
山荷葉 「ワサビ」土音「キセ、リ」  
蕓薹 「アブラナ」又「ナタチ」土音「ア  
タ

種ニ今各  
甘藍 「ハボタン」米種「キヤベ」木使  
蕪菁 「カブラ」和洋種  
ナ」又「ペン」土音「グサ」  
遏藍菜 「ゲンバイ」  
菘藍 「ダイセイ」土音「セ」アタ子」様  
土音「レイ」ケイ」ス」  
菜菔 「ダイコン」寛政二年初テ白糠川等ニ種ユ  
松前函館近村ニ産スルモノ特ニ肥大ナリ

胡堇菜 「エゾスミレ」又「カクレ  
紫花地丁 「スミレ」又「モ  
トリバナ」  
オホバノキスミ  
レ」モトキナ」室蘭縣別福島山中等  
堇菜 「タチツボ」スミレ」多  
ク山野林中ニ生ス

莖菜科

胡堇菜

菜菔

甘藍

蕪菁

ツボスミレ 叢林中ニ生ス葎菜ニ似テ頗ル大高尺餘ニ至ル葉大ニシ淡紫色アリ  
アギスミレ 札幌函館三石其他ニ生ス花白クシテ小ナリ  
スミレ 一名遊蝶花洋種ナリ  
多ク家庭ニ移シ種ユ

遠志科

遠志 「ロメ」  
ハギ

石竹科

瞿麥 「ナゲシ」又「カ」 ムシトリナゲシ 洋種ナリ札幌函館等ニ移種ス  
狗筋蔓 「ナゲシ」  
ハコベ 叢林  
中ニ生ス

女婁菜

及ヒ河畔沙地等ニ生ス七月花開ク エンビセン  
ノウ 花鮮紅色四裂シ頗ル燕尾ノ状アリ  
オホバナノミ、ナグサ  
海邊岩上ニ生ス莖稍傾側シ莖葉共ニ微毛アリ花  
ハ卷耳ニ似テ頗大ナリ瓣白色ニシテ長葎ニ倍ス  
ミヤマハコベ 山中

雀舌草

札幌函館ニ生ス  
オホヤマハコベ 札幌函館等ニ生ス  
オホヤマフスマ 土音「サ」  
シテ頭尖銳狀披針ノ如シ或ハ別種ナラン

ハマハコベ 函館岩内饒函石狩等海濱ニ生ス莖長一尺許地ニ貼シテ  
生シ葎五葉花五瓣アリ瓣白色  
漆姑草 「ツメクサ」又  
色併裂セス葎ロリ短カシ

馬齒莧科

馬齒莧 「スベリ」  
半支蓮 「マツバボタン」明治  
以後各地ニ移種ス

金絲桃科

湖南連翹 「トモエサウ」又「クサビヨウ」山  
野各地ニアリ七八月花開ク  
小連翹 「オトギ」  
ミヅオトギリ

沼澤中  
ニ生ス

山茶科

獼猴桃 「シワク」又「サルナシ」方言「ニヤキウ」實「コクハ」土音「クツ」  
一二尺ニ至ル又強硬彈力アレハ急流ニ張リテ渡船ヲ維持スヘク又蛇  
籠ト爲シ波索ト爲スヘク其皮以テ紙ヲ製スヘシ實ハ附圓綠色ニシテ

降霜後始メテ熟ス肉軟ニシテ味甘酸土人  
好テ食ス又腸傷ニ効アリ或ハ酒ニ製ス  
木天蓼 「マタ、ビ」又「ナツメ」  
山中ニ生ス秋月實熟ス形「コクハ」ニ似テ尖銳色丹黃味甘幸生食スヘシ

又未熟ノ實ヲ鹽蔵シテ食ス又獼猴桃木天蓼ハ條中水液多シ斷テ之ヲ

飲ム酒ヲ  
醫スヘシ

菩提樹科

シナノキ

「ヘラノキ」津輕「マタノキ」土音「コベレ」又「コベレ」高五六丈  
闊七尺ニ至ル大葉小葉ノ二種アリ共ニ建築器具ノ用ニ供ス

「ヘシ」春夏ノ際山民小木ヲ撰ヒ皮ヲ剝キ後又外皮ヲ去リ内皮ヲ存ス此  
「シナカハ」ナリ其色淡黃褐質堅韌最モ能ク水ニ耐フ故ニ索ト爲シテ舟

板ヲ綴合シ成ハ馬具ト爲シ又漁業ノ脚絆ハ多ク此皮ヲ以テ製  
シ又織テ布ト爲ス南部ニテ「マダヌ」ト呼フ又露席ノ文ト爲ス

オホバ  
ボダイジユ 石狩後方羊蹄山中ニ多シ菩提樹ニ似テ其葉頗ル大ニシ  
テ圓ナリ下端或ハ心臓ノ形ヲ成シ或ハ截形ヲ爲シ實ノ

著スル處  
凹窪ス

牻牛兒科

牻牛兒苗

「ゲン」ノ「グンナイフウロ」山野各處ニ在リ盛開ノ候  
埃ゾフ

ウロ

「ハマフウロ」函館岩内鏡函千歳等ノ海濱ニ生ス  
酢漿草 「カタバ

野鳳仙花

「フリ」フ子サウ「廣尾」土音「ハウ」チクニ  
キツリフ子 土音「ホチ

鳳仙花

昔時内郡ヨリ移植ス  
ル者ナリ各地ニアリ

芸香科

秦椒

「サシ」セウ「土音」カ  
薬 「キハダ」方言「シロ」コ「土音」シケレベニ「十勝川上」殊

色ヲ染メ藥用ニ供シ外皮ハ「コー」ク「性」ヲ有ス土人以テ舟ヲ作り或ハ屋  
ヲ覆ヒ又壁及ヒ席等ニ換フ黒龍江邊ノ漁夫其皮三四枚ヲ合セ漁網ノ

浮兒ヲ作  
茵芋 「ミヤマ」シキ「土音」エリト「バキナ」札幌  
ルト云 岳長萬部ノ雷登等ノ山背陰地ニ生ス

黃棟樹科

黃棟樹

「ニガキ」土音「シユ」ニ「岩」内札幌室蘭野田諸山ニ生ス土人、皮ヲ剝  
キ截テ輪トナシ則リ繩メテ文ヲナシ婦人ノ首飾トス此樹多ク

苦味ヲ含ム括失亞ニ代用ス可シ又  
煎テ汁ヲ寄露ニ瀝キ最モ功アリ

冬青科

イヌツゲ

札幌函館地方  
ツルツゲ 渡島國山  
山中ニ生ヌ  
中ニ生ヌ

衛矛科

衛矛

一種「コマ」ユミ「松」前方「照」葉  
桃葉衛矛 「マ」ユミ「方」音「エリ」マ「キ」又「イ」ヌ

「ロカ」ン「天」鹽川上流殊ニ多シ木理緻密白  
ツリバナ 札幌邊山中ニ生ヌ  
水取崖岸ニ生ヌ

者大丈餘 ツルマサキ 林中陰濕ノ地ニ生ス内地ノ者  
ニ至ル 比スレハ葉頗ル大且厚シ ツルムメモド  
キノ方百「ヤマガキ」土音「ハイブンガ」蓋ニ鐵線アリ潔白ニ  
シテ長シ用テ紙ヲ製スヘシ土人皮ヲ割テ釣輪ニ用フ

葡萄科

山葡萄

「ヤマブドウ」土音「ハツアングラ」莖ハ獼猴桃ニ類ス降霜ノ候實熟  
ス形圓ニシテ色暗紫其味甘酸土人好テ食フ此種ハ米國北部ニ

多ク生ス「イサベラ」カトウバ「コンコード」等ノ種アリ開拓使之ツ米國ニ  
購ヒ七重札幌等ニ移ス能ク地質氣候ニ適シ繁殖スル「自生種」ニ異ナ

葡萄

山梨縣下ヨリ七重試驗場 蛇葡萄 「ノブドウ」方言  
ス「ヘ移ス」繁殖宜シカラス 「メクラブドウ」方言 烏欒莓 「ヤブ

シ」又「ビンボカウラ」  
土音「イラブンガラ」

無患樹科

七葉樹

「トチノキ」土音「ウシロ」又「ベロニ」山中陰濕ノ地ニ生ス西海岸  
ヨリ北海岸ノ山ニ多シ巨樹アリ材質白色淡黃ニシテ斑點アリ

極テ英密ナリ屈材器具ノ用ニ供ス又盆盥等ニ作ルヘシ土人刻テ船ニ  
造ル其子ハ澱粉ト爲スヘシ唯他道ノ山民飯ヲ去リ曝テ米粉ヘ雜ヘ餅

トナス苦味アル故ニ直 メイゲツカヘデ 方言「ハナイタヤ」土音「イソト  
ニ食用ト爲ス能ハスト 「ベニ」多ク山腹高燥ノ地ニ

生ス秋月紅葉錦ノ如シ木質 トキハカヘデ 「ツタカヘデ」方言「イタヤ」土  
紙密諸器具ノ柄ト爲スヘシ

石狩國特ニ巨樹多シ木質白色密理甚タ堅カラス髓メ易シ土人以テ器  
具トナシ刀鞘イタヤシ、マキリ、タシロ等ノ柄及ヒ杓子烟草袋ノ類ヲ作  
ル又農具ノ柄ニ宜シ越後ニテハ雪車ニ作ル當道ノ「カヘデ」類其種多少  
ノ糖分ヲ含ム就中「イタヤ」最モ多シ其液汁ヲ取ルハ二月中旬ヨリ三月  
上旬マテヲ以テ最良トス其液汁ヲ攪  
テ糖蜜或ハ砂糖ニ製ス風味至テ宜シ オガラバナ 山中幽深ニ生ス莖  
九尺札幌邊六月ノ頃梢ヨリ穂ヲ出ス カラコギ 「モチチ」方言「ナ  
「ニ」三寸多ク小花ヲ綴ル其色淡綠 ヘイタヤ」又「ヤチイタ  
ヤ」札幌邊谷地ノ側ニ多ク生ス八月月 省沽油 「ミン」方言「シロ  
ノ頃果實紅色ヲ帶ヒ頗ル美觀ナリ ルカ」又「ヤルベ」ニ札幌  
函館邊山野叢林中  
ニ産ス六月花開ク

漆樹科

鹽膚木

「フシノキ」方言「ゴマギ」函館小樽余市等ニ生 ヤマハゼ 「ヤマウル  
ス」小樽邊ノ者皆鹽水ニシテ葉肥大ナリ シ」土音「ウ

シヤチラ」又「ウ」 エゾウルシ 葉漆ニ似テ大下端ノ小葉ニ四粗ナル露  
シ」染料ニ用フ 齒ヲ有ス札幌邊六月花開ク九月實熟ス

實ノ外皮 野葛 「ツタウ  
ニ刺アリ ルシ」

木本鉤吻科

木本黃精葉鉤吻

「ドクウツキ」ナベハリ「カハラウツキ」又「ミソヤカズ」高  
五六尺八月頃實ヲ結フ熟シテ赤色眼テ食スレハ死

ニ及フ木莖  
共ニ葎アリ

荳科

野決明 「センダイハギ」土音「サナシム」ニ海  
オランダゲンゲ 「シロツメ」英名

（ホワイト、ク）ムラサキツメクサ  
ア札幌七重其他ノ牧場ニ播種ス

シヤジクサウ 渡島國山  
百脈根 「ミヤコケサ」又「コガネバナ」札幌邊六  
月ヨリ花開ク西洋諸國牧草ニ用フ

其莖分クローメ 木黄莖 「モクセンツ」札幌邊平川河側  
ルニ劣ラスト云 沙地ニ生ス七月上旬花開ク  
ダテヤマワウ

ギ 木黄莖ト共ニ生シ  
山菜豆 「ヤブハギ」又「ヌ」  
胡枝子 「ハギ」土音「レンゲツ」  
又同時ニ花開ク スビトハギ

キハギ 「ノハキ」函館三石  
鐵掃帚 「ノドハギ」土音「ボクレンゲツ」コク  
佐瑠山中ニ生ス

サフヂ 原野各地ニ生ス收草ニ宜シ  
野豌豆 「ハマエ」  
及ロ大巢菜(カラスノエンドウ)モ各處ニ産ス

方音「キツマ」又「イビ」土音「メナシヤル」又「メナシヤル」  
ガワ」又「バシクルハル」東海岸皆産ス土人買フ採リ食ス  
苳芒決明

「イタチサ、グ」土音「ムラシヤク」札幌邊七月花開ク邊志  
登加留ニテ「ウシクサ」ト云此草能ク葎ヲ殺ス故ニ名ク  
山藜豆 「レンリサ」  
地ニ生ス札幌七月花開ク皆道産ノ者葎稍ヤ  
歪頭菜 「タニワタシ」又「ナ  
淵タレテ幣圓ノ者アリ托葉モ亦淵大ナリ

「ハウチ」 豌豆 「エンドウ」洋種數品アリ  
大豆 「オホマメ」寛政二年原新介初  
キナ」皆能ク地ニ適シ繁殖ス  
メテ船川地方へ播種ス能ク

風土ニ 土園兒 「ホドイモ」山野叢林ニ  
葛 「クズ」土音「ライカラ」其莖以テ乾  
適ス 生ス其根ヲ食スヘシ 餅ヲ束ヌヘシ方俗之ヲ「フヂ」ト

云土人越ワ採リ水ニ漬シ皮ヲ剥キ糸トナシテ  
衣服ヲ縫フ其根食スヘク又澱粉ヲ製スヘシ  
菜豆 「インゲンマメ」寛政  
二年原新介初メテ

船川地方へ播種ス紅白禍斑ノ  
數種アリ東地土人亦耕種ス  
赤小豆 「アヅキ」播種同上明治以降多  
ク勝振國ニ産シ大ニ名アリ

豆 「サトウ」播種同上  
榎桃 「イヌエンジ」方言「エンジ」土音「チクベニ」山野各  
種同上 處ニ生スト雖モ潤濕ノ地ニ生スル者特ニ巨大ナリ

石狩平原及ヒ苫前川上ニ巨樹多シ土  
人以テ烟草盆烟草盆其他器物ヲ造ル

薔薇科

梅 「ウメ」松前志ニ單瓣重瓣紅白種類  
多シ陰曆三四月ニ至リ花開ク  
山嬰桃 「ヤマザクラ」土音「カリシバニ」  
又「カリバナ」五六月花開

ク土人皮ヲ以テ船板ヲ綴リ又以テ弓ヲ飾リ刀鞘筒筒ヲ纏フ又印板其  
他器物ニ造ルヘシ其用最モ多シ又重瓣ノ者アリ西部太田海岸絶壁ノ  
地ニ 李 「スモ」松前此木多シ或ハ鹽  
シロザクラ 山中ニ生ス大木ヲ成  
在リ 藏シテ雪中ノ植物トナス

ク穂ヲ成ス「ウハミ」ツザクラノ如クニシテ粗ナリ一花毎ニ莖葉アリ  
其形圓或ハ俯圓ニシテ葉面アリ小枝莖花梗等ニ毛茸アリ莖柄ニ密線  
ナ

シウハミヅザクラ 方言「シウリ」又「シワリ」又「イヌザクラ」土音「ホタエ」  
ニ陰濕ノ地ニ生ス六月花開ク秋ニ至ッテ實熟



ス隠蔽シテ食フ色理「ロガツラ」ニ異ナラス  
估力アリ魚鱗漁艇車櫃及ヒ櫃等ニ作ル  
エゾウハミヅザクラ

「リキン」ニ高ニ丈「ウハミヅ」ニ似テ其葉圓或ハ頭圓ニシテ木小  
倒卵ノ如キアリ其穂白色「ウハミヅ」ニ比スレハ較短クシテ粗ナリ又

「シロ」ノ如ク花 桃 「モ」和洋兩種アリ北地寒氣ニ  
及ビ毛茸ナ 桃 庭ヘサルニヤ生植宜カラス 繡線菊 「シモツケ」山  
中ニ生ス六

七月花 珍珠花 「コ」メハナ又「イ」ハヤナ  
開ク 松前函館近方ニ生ス ホザキシモツケ 多ク濕地ニ  
生ス七八月

花開 シモツケサウ 「ナ」ツニキサウ「陰」濕ノ地ニ生ス一種札幌其他山野  
ク白花ツ開キ葉葉皆毛アル者 濕地ニ生シ其高七八尺ニ至リ葉大ニシテ缺刻淺

アリ之ヲ「オ」ニナツニキト云 ホザキナ、カマド 函館山、エナワ峠、  
札幌岳等ニ生ス

棣棠花 「ヤ」マブキ松前函館等 蕪田蕪 「ナ」ハシロイチゴ「土」音「ホル」カル  
ニテ園庭ニ移植ス ユシ七月ノ頃實熟ス其味甘美

ナラ ミヤマアシクダシ 「エ」ビガライチゴ「土」音「ユケ」マツシ「八月」實  
熟ス微赤色黄色ヲ帶ヒ香味殊ニ美ナリ

エフイチゴ 土音「アレ」キナ又「アレ」キナロカ、釧路國厚岸、渡中、エゾ  
近傍又チエツ、ボウシ山中等ニ生ス七月實熟ス

イチゴ 「ア」ハイチゴ「石」狩十勝等山中ニ生ス莖弱クシテ臥シ長數尺ニ  
至ル葉ハ一柄三葉脊白色ニシテ狀倒卵ノ如ク露齒アリ葉柄

及ヒ莖共ニ刺アリ葉腋ニ四白花 懸鉤子 「キ」イチゴ「土」音「イ」マレ  
ワ生ス八月實熟ス色赤味美ナリ フレツナ「山野」ニ生ス 水楊梅

「イ」コソサウ「土」音「ホ」ンライタ又「タ」クタクセツ「ビ」原野道傍等ニ生ス  
八月花開ク一種葉倒卵狀ニシテ兩端尖リ托葉頗ル大ナル者アリ 蛇

莓 「ヘ」ビイチゴ又「ク」 シロバナノヘビイチゴ 山中ニ生ス五月白花  
チナハイチゴ

熟ス赤色ニシ ミツバツチグリ 山野濕地ニ生  
テ味甘美ナリ 六月花開ク ツルキンバイ 長萬

節等海濱ニ生ス クロバナラウゲ 谷地ニ生ス札幌  
八月花開ク 遊六月花開ク 狼牙 「ミ」ツモトサ  
ウ「札」幌邊山

野及ヒ瀾渠ノ側ニ キンララウバイ 十勝其他山  
生ス八月花開ク 中ニ生ス 龍芽草 「キ」ンミツロ  
キ「土」音「ライ

「土」人此葉ヲ取テ金瘡ニ傅ク松 地榆一種 「ナ」ガバナシロワレモコウ  
前ノ俗ハ其根ヲ用テ腹痛ヲ治ス 土音「ム」セウキ「界」瀾ノ地ニ

生ス札幌邊八月花開ク又 野薔薇 「ア」イバ「渡」島  
同種ニシテ紅花ノ者アリ 國山野ニ生ス 玫瑰 「ハ」マナス「土」音「マ

ニ海邊沙地ニ生ス高二三尺ニ過ス宗谷ニ成林アリ高者丈餘闊尺許ニ  
至ル花香氣アリ蒸溜シテ香水ヲ製スヘシ秋月實熟ス方俗茄子ト共ニ

菰トナレテ食フ土人實ヲ海水ニ 梨 「ナ」シ和洋種共ニ移  
流フテ食シ根ヲ藍色染料ニ用フ 栽ス能ク實ヲ結フ ズミ 「ヤ」マナシ  
又「カ」タナ

シ「土」音「セ」タニ「山」野ニ生ス五六月ノ頃淡紅花ヲ開ク實 海棠 「カ」イダウ  
ハ酸苦ニシテ生食スヘカラス梨ノ樹砦トナスニ宜シ 函館松前

等ニ移栽スル 林檎 「リ」ンゴ開拓使之ヲ米國ヨリ移シ七重井ニ札幌  
茲ニ年アリ 勸業試驗場ニ植ユ風土ニ適シ多ク實ヲ結フ ヲ

ラジロノキ 札幌邊林 中ニ生ス アヅキナシ 「シ」ラシテ「方」音「カ」タスギ「土」音「チ」ケ  
シ「ラ」ニ「山」野ニ生ス高二三丈ニ至

ル其質堅ク色白葉ニシテ 花楸樹 「ナ」カマド「土」音「セ」イカバラ「山」中ニ  
粘カアリ器物ニ造ルヘシ 生ス高二三丈材質灰白色ニシテ密

理堅銀ナリ器  
物ニ造ルヘシ  
遊共ニ毛  
甘アリ  
カマツカ  
「ウシコロシ」土音「コトル」シ子「渡島」國中多ク生ス  
春末細白花ヲ開キ夏月實熟ス赤色小兒之ヲ食フ

虎耳草科

鬼燈檠 「ヤグルマサウ」山中  
陰濕ノ地ニ生ス  
虎耳草一種 「イモンビサウ」山中  
岩ニ生ス九月花開ク  
ク口

クモサウ 「イハアキ」嶺間ニ生ス  
札幌邊八月花開ク  
ツダヤクシユ 山中ニ在リ「ク」  
モサウト共ニ生ス

子コノメサウ 札幌邊山野濕地ニ生ス又此類ニ  
レナ嶺間ニ生スル者數種アリ  
ムメバチサウ 山野

濕地ニ生ス  
八月花開ク  
「アヤマチヤ」又「アマチヤ」土音「ラシユハ」山中  
シヤニ「山野」ニ生ス札幌邊八月花開ク  
土常山

濕地及溪畔ニ生ス札幌邊七八月花開ク  
ツルアヂサイ 「ツル」  
リ「山野」

中ニ生ス札幌  
邊七月花開ク  
鐵地風 「イハカラミ」又「ユキカツラ」又「ウチワ」樹上或ハ  
嶺邊ニ攀纏ス函館邊黒松内札幌等ニ生ス七月

花開ク  
山梅花 「サツマウツギ」又「バイクハウツギ」  
函館邊山中ニ生ス七月花開ク  
エヅリベス 「アカリベ

ヒ函館邊ニ生ス灌木長六七尺葉厚銳ニシテ背ニ絨毛アリ缺刻三五且  
ツ淺ク頭鈍尖ニシテ脚部ノ狀心臓ノ如シ周邊ニ齒アリ花淡紫色穂ワ

成シ上生ス穂軸ニ毛茸アリ實ヲ結ニ及テ下垂ス紅熟佳味ナリ又一種  
小灌木ニシテ厚岸嶺中山道及ヒ宗谷邊ニ生スル者アリ其果實赤色ニ

シテ毳毛ワ有ス味酸  
盆子ニ似テ酸味アリ

景天科

費菜 「キリンサウ」土音「ユキトバケラ」又「クナウ」  
山中巖石上ニ生ス七八月ノ頃花開ク  
馬齒莧菜景天 「ミセバヤ」  
又「タマノ

マ「海岸」岩石  
上ニ生ス  
ハマベンケイサウ 石狩海邊ニ生  
ス七月花開ク

茅薺菜科

モウゼンゴケ 「マゴノテ」石狩函館岩内其他濕地ニ生ス葉ニ梗アリ體圓  
ニシテ微ク赤色ヲ帶ヒ面ニ赤毛アリ外邊ニアル者稍長

シ毛頭露珠ヲ著ク粘カアリ小蠅及他ノ小蟲其葉ニ止ルアレハ粘著シ  
テ逃ルハ「能ハス時ニ外邊ノ長毛徐ニ纏フテ之ヲ掩ヒ終ニ其糞汁ヲ

吸フテ己ノ  
滋養ト爲ス

蟻塔科

ムマノヲグサ 羅甸名「ヒユユリス」フルガリス「札幌邊」澤畔ニ多ク生ス其  
狀稍「ヤマドグサ」ニ似テ水上ニ直生ス細葉八九乃至十箇

毎節叢生シ每葉又一花ヲ有ス其構造頗  
ル簡單ニシテ一雌一雄且ツ無瓣ナリ  
アリノタフグサ 山野微濕

中ニ  
生ス  
ノ地又溝

千屈菜科

エヅミソハギ 土音「エント」石狩十勝其他卑濕ノ地ニ生ス七八月ノ頃花  
開ク千屈菜ニ似テ莖ハ披針ノ如ク脚部湖クシテ心脈ノ  
如シ或ハ對生シ或ハ三葉叢生ス花簇生シテ穂ヲ  
ナス密ナリ雄蕊二十勝土人苗ヲ取り論テ食ス 百日紅「サルス  
「ハナツク」松前志ニ近  
年他道ヨリ移シ植ユ

柳葉菜科

柳葉菜 「アカバナ」札幌邊濕地或ハ  
河畔ニ生ス八月花開ク イハアカバチ 多ク水邊  
ニ生ス ヤナギラ  
ン 「ヤナギサウ」山中向陽ノ地ニ  
生ス札幌近傍七月花開ク ミヅタマサウ 林中陰濕ノ地ニ生ス  
ウシダキサウ 「オランダゴシ」山中陰地  
ニ生ス札幌邊七月花開ク ミヤマタニタデ 稔間ニ  
月花開ク又札幌近傍山 マツヨヒグサ 洋種ナリ明治以後移  
中稀ニ「タニタデ」ヲ生ス 種ス今野生ノ者アリ 芟 「ヒシ」  
「ベカンベ」石狩十勝等ノ澤地ニ  
生ス土人ハ實ヲ食料ト爲ス

葫蘆科

ミヤマニガウリ 土音「チカウ」ゴブシガラ山下陰林  
中ニ生ス札幌近傍八月花開ク 絞股藍 「アマチヤブ  
ル」土音「シヨ

ロモンニ札幌佐野函館  
其他ニ生ス八月花開ク 南瓜 「タウナス」又  
「ガモウリ」又 絲瓜 「ヘチ  
タウガン」 西瓜 「スイ  
ハ」 越瓜 「シロ  
ウリ」 扁蒲 「ユウガホ」以上寛政ニ  
ニ

繖形科

石胡荽 「チドメサウ」界  
濕ノ地ニ生ス 變豆菜 「ム  
マミツバ」又「オニミツ  
バ」山野叢  
岩内幌別函館其他叢林中ニ生ス八月花開ク ドクセリ 「カハセン」  
側ニ生シ札幌邊七 月花開ク ダケゼリ 「カノツメサウ」山中微濕ノ  
月花開ク 毒草ナリ 地ニ生ス札幌邊八月花開ク ミツバ 「ミ  
パセリ」土音「フホー」原野濕地ニ  
生ス七月花開ク其葉食スヘシ 野胡蘿蔔 「ヤブニンジン」又「ナカビラ  
六月花 開ク シヤクナ 函館札幌其他微濕ノ地ニ生ス七月花開ク 新苗 イブ  
開ク 食スヘシ又其根水ニ浸ス數日後發テ食フヘシ

キバウフウ 札幌豊平川上河畔  
ニ生ス八月花開ク ハマバウフウ 岩内函館石狩等海濱  
ニ生ス八月花開ク

水蘊 「セリ」土音「オ」沼澤中ニ生ス札幌  
邊八月花開ク土人之ヲ食フ 蛇牀 「ハマセリ」又「ハマニンジン」松  
前方音「コシヤク」土音「イチヤ

リキナ」函館松前給柄等海邊ニ生ス肥大ニ  
シテ散ク香氣アリ春夏ノ間土人之ヲ食フ エヅニウ 土音「シウキナ」又  
「チシワイ」獨活ノ

類ニシテ肥大北部ノ地大ナル者多シ宗谷樺太邊高一ニ丈圍一尺五六寸ニ至ル者アリ箇間三尺許竹筒ノ如シ土人曠乾シテ矢筒ト爲シ又機織ノ具ト爲ス土人其ヲ採リ皮ヲ去テ生食シ或ハ日ニ干シ貯フ其味微ク辛苦ニシテ臭氣アリ **エゾオホバセシキ**

ウ 溪側ニ生ス土人 **ハナソド** 方言「サク」土音「ゼット」又「フレキナ」山野散時ニ之ヲ食フ 他ニ生ス其氣味臭 **アマニソ** 方言「ニウ」土音「イマキナ」又「シイチレホヤ

惡土人稀ニ食フ 實ニ似テ大ナリ土人其ヲ折リ生食ス其味微甘故ニ **竊衣** 「ヤブジラミ」山林「アマニウ」ノ名アリ又或ハ皮ヲ去リ刺キ乾テ貯フ

開 **五加科**

五加科

土當歸

「ウド」又「ヤマウド」土音「チマキナ」札幌其 **總木** 「タラノキ」方言「タラフ」

「アユレ」ニ山野叢林中ニ生ス殊ニ海濱ニ **土參** 「トチノキ」ニシテ又「チクニ近キ山ニ多シ春嫩葉ヲ摘ミ食フ

イ 輪柄長萬部大沼嶺島札幌 **人參** 「オタチ」ニシテ十年前江戸ヨリ朝鮮人參ノ種ヲ給

ルト雖モ其根越タリ北海隨筆ニ松前千軒嶽ニ漢種ノ人參アリト又函館醫記ニ七重村藥園へ朝鮮人參ノ苗ヲ始テ移シ植ルハ文化年中ノ頃

ナリト又開拓使勸業課ニテ數年間 **五加** 「ウコギ」函館 **刺楸** 「ハリギリ」方

札幌ニ於テ試驗ノ爲メ培養セリ

又「オニセ」土音「アユレ」ニ山野陰濕ノ地ニ生ス八月花開ク材ハ建築及ヒ器具ノ用ニ供ス土人以テ割舟ヲ造ル **アブラギ** 「ニジンボク」土音「コトロン」ニ山野濕地ニ生ス八月花開ク材質白色細理ニシテ堅カラヌ木屢及ヒ匣箱等ニ宜レ **ハリブギ** 「タマ山中樹陰ニ生ス

山茱萸科

八角楓

「ウリノキ」山腹陰地ニ生ス **ミヅキ** 土音「ウドカニ」多ク山中ニ生ス

宜シ洋説ニ凡水木ノ屬皆根皮等ニ「コル」ニシテナル原性ヲ含有シ「キナ」ズ

ズ **ゼンタチバナ** 函館及ヒ常山溪等 **桃葉珊瑚** 「アツキ」函館松前

雙子葉單瓣花

忍冬科

レンブクサウ

札幌陰險樹中ニ **接骨木** 「ニハトコ」方言「コブ」土音「フ

月實ヲ結ン赤黄ニ種アリ此樹木耳ヲ出ス綱走山中ノ者特ニ名アリ方

俗此木ヲ薪ト爲スワ忌ム東部ノ土人此木ヲ以テ薪具ト爲ス又此木ヲ

海中ニ入ルハワ忌ム **カンボク** 叢林中微濕ノ地ニ生ス五六月ノ頃花開

ア酒ト武スヘク ムシカリ 「オホガメノキ」土音「リナンダホ」ヘミノ

又生食スヘシ 山ニ生ス六七月ノ頃花開ク

キ 札幌岳及ロ函 楊楹 「タニウツギ」山足河側等ニ生ス七月花開ク又一

館等ニ生ス 種悪庭岳ニ生スル者ハ其花淡藍色ニシテ萼片

頗ル長 クロミノウグヒスカヅラ 土音「エリモタン」又「トヘチ」厚

大ナリ クロミノウグヒスカヅラ 岸千歳等ニ生ス「ヒヤヤタン」

クノ類ナリ實熟シテ黒色味甘酸ニシ ナ、コロビ 石狩方音「ブシダマ」

ナ汁多シ萼ハ線形ニシテ二葉ヲ生ス 地ニ生ス灌木高六七尺葉ハ長橢圓或ハ倒卵形ニシテ毛茸アリ對生ス

七八月ノ頃赤實ヲ結フ圓形ニ粒雙著ス大薄アリ土人大ニ恐ル「ナ、コロビ」トハ一粒ニテモ食スレハ七歩ヲ出スシテ

斃ル「ノ意ナリ又「ブシダマ」ハ毒實ノ意ナリ

茜草科

クルマバサウ 陰林中ニ生ス エゾアカ子 「オホアカ子」土音「イナウナキ」

月花開ク莖草ニ似テ頗ル大ナリ葉ハ同ク四四相對スト エゾキヌダ

雖形披針ノ如ク殆ト無梗長ニ寸五分餘ニ至ルアリ

サウ 札幌邊河内ニ生ス七月花開ク「キヌダサウ」キクムグラ 札幌邊

生ス又「ホソバ」ノヨツバムグラアリ又一種「ヨツバムグラ」ノ類ニ 蓬子

シテ葉湖大形稍倒卵ノ如ク特ニ山中陰地ニ生スルモノアリ

敗醬科

敗醬 「ラミナヘシ」土音「セタツベキナ」札幌 土音「ユフタラ」札幌

ホバオミナヘシ 札幌邊山道其他山林ニ生ス地花菜ニ似テ葉

ノ刻岐淺ク形「オガラバナ」ノ葉ニ納似タリ

山蘿蔔 「マツムシサウ」又「リンボウギク」多

ク様似海岸ニ生ス八月花開ク

山蘭 「ロドリバナ」土音「ヤム」ニ山野各處ニアリ八月花開ク數種アリ

冬 「ヤマブキ」又「エゾブキ」又「ノブキ」土音「コル」ニ山足溪澗陰濕ノ地ニ生

スル者ハ長八九尺圓八九寸葉徑四五尺ノモノアリ土人其葉ヲ笠ニ

代用シ或ハ莖葉ヲ連子テ傘ニ換フ又莖葉ヲ生食シ或ハ論シ或ハ炙リ

夏秋間過半ノ食ト爲ス者アリ唯乾燥ノ地ニ生スル者ハ莖葉共ニ短小

ニシテ他道ノ産ニ異ナラス其味稍苦 和尚菜 「ノブキ」又「サヤ」山

馬蘭 「コンギク」札幌邊山野 東風菜 「シラヤマギク」山野 アキノヨモ

ギ 札幌邊路傍及ロ アキノキリンサウ 山野ニ生ス 旋覆花 「オグル

カハハラアツバ」多ク海濱河 昨沙地ニ生ス七月花開ク

「トウレン」函館札幌等原野 馱函余市函館等海濱 馱函ノ地ニ生ス八月花開ク **カセンサウ** 馱函市函館等海濱ニ生ス八月花開ク **猪莖** 「モミ」土音「ウレ」ザレキ札幌邊林 馱函市函館等海濱ニ生ス八月花開ク **蒼耳** 「ラナ」モミ札幌石狩中ニ生ス毛茸多少ノ二種アリ **蒼耳** 松前等路傍ニ生ス **蒼草** 「ノ」コギ又「ハ」コロモサウ土音「イナ」ウナキナ原野ニ生ス七八月ノ頃花開ク花紅白二種アリ又一種葉細長ニシテ周縁ニ細齒アリ状舌ノ如シ花餅八片ヨリ十二片ノ者アリ白色 **コハマギク** 函館邊岩石上ニ生ス十月花開ク **ギンカウライ** 「カ」ニシテ大ノ者アリ **艾** 「ロ」モギ土音「ノ」ヤ多クニシテ瀨ノ地ニ生ス八月花開ク土人葉ヲ食フ 原野ニ生ス高丈餘ニ至ル當道ノ馬夫夏月他草ト共ニ刈 **牡蒿** 「オ」トコロモギ土音「ク」ツタリ又貯ヘテ冬月中牛馬ノ食料ト爲ス **白蒿** 「レ」ロモギ土音「カ」ムイノヤ月花開ク **菴藷** 「イ」ヌロモギ札幌函館等山 函館支笏其他海濱近キ所ニ生ス土人用テ **ヤマハハコ** 札幌邊山野微濕ノ地 **荻** 「カ」ハラハハコ札幌腹痛ヲ治ス **ギンクビサウ** 山中陰地ニ生ス八月花開ク **天名精** 「ヤ」フタバコ土音「イ」ケレキナシラカウ 似タリ穂頂唯葉香花ノ如ク平面ヲ如クニシテ形腎臟ノメダカラカウ 「コ」タカラカウ土音「ス」ツプ **ギツク** 山中ニ生ス **ダウケブキ** 岩山ニ生ス八月花開ク葉香ノ花ニナサス葉ノ形腎臟ノメダカラカウ 「イ」山中ニ生ス八月花開ク **モミ** 如クニシテ形腎臟ノメダカラカウ **ヨブスマサウ** 方音「ボ」ウナ又「ク」ヂガサ 「モ」マサウ土音「シ」トケ山中 **ヨブスマサウ** 方音「ボ」ウナ又「ク」

「ベ」ツク山中陰地ニ生ス高六七尺ヨリ丈餘ニ至ル葉ノ形矢ノ如ク潤大幅尺餘八月花アリ「タ」マブキ花ノ如シ仙臺南部ニテ其末莖ヲ折り輪ヲ食ス土人亦希 **劉寄奴草** 「ハ」ンゴンサウ方音「ヘ」ビアサ又「ナ」ッパ土ニ食スル者アリ **オキナ** 「ユ」ツクツタラ又「ロ」ムクツタラ又「ベ」カンベクツタラ多ク山野ニ生ス高六七尺ヨリ丈餘ニ至ル土俗言フ此草多ク生スル處必ス沃壤ナリト故ニ新ニ地ヲ撰フモノ能クコトニ注目スベシト土人廠莖ヲ食フ又石狩邊ノ土人此ヲ「ベ」カンベクツタラト稱スルハ其花ノ盛ナル時莖實「ベ」カンベクツタラト稱スル者多ク **エゾナグルマ** 土音「シ」ラキナ又「ボ」ロヤキナ海濱ニ生ス「ツ」ケレハナリ **エゾナグルマ** ヲゴンサウニ似テ葉厚ク露齒アリ粗ニシテ葉シカラス八月頃莖頭多ク枝ヲ分チ **ヒメヒゴダイ** 山中陽地ニ生ス花ヲ開ク狗舌草ノ如ク葉黄心ナリ **ズキツ子アザミ** 原野陽地及ヒ耕地ニ生ス「キ」フチアザミニ路似テノ如シ兩面綴軟白毛アリ莖枝ヲ分テ直生スル「四」五尺花「タ」ムラサウニ似テ小其色暗紫ニシテ雌雄花各其株ヲ異ニス **雞頂草** 「サ」ハアザミ多ク原野濕 **小薊** 「ノ」アザミ土音「ア」ンサミ又「イ」ウノカリ多ク地ニ生ス八九月花開ク 原野ニ生ス土人廠芽ヲ摘ミ茹ト爲シ食ス 此地薊ノ類七 **午勞** 「ゴ」ボウ土音「セ」タコロコニ好テ路傍ニ生ス其根圓ミ八種アリ路ス **大丁草** 「セ」ンホンヤリ山 **野蔓菁** 「ヤ」フタバヒラコ札幌珠虹田地方ノ **大丁草** 中陰地ニ生ス **野蔓菁** 邊叢林中ニ生ス **毛** 産ヲ有名トス **山高苳** 「ア」キノ、ダシ札幌邊叢林 **ヤマニ** 連菜 「カ」ウソリナ多ク原野 **山高苳** 中陰地ニ生ス八月花開ク **ヤマニ** ニ生ス七八月花開ク

ガナ 「ヒロハノムラサキニガナ」札幌  
邊山足陰地ニ生ス八月花開ク

蒲公英 「タンポポ」土音「コマ」  
生ス八月花開ク

黄瓜菜 「ニガナ」原野陰林中ニ  
生ス六七月花開ク

ハマニガナ 「ハマイナウ」函館  
及ヒ路傍ニ生ス「イハニガナ」亦之レアリ

黄鵪菜 「オニタビラコ」函館  
札幌等林間ニ生ス

チジヤウナ 石狩函館等海邊ニ生  
ス八月黄花ヲ開ク

ヤナギタンポ 木タンポ、札幌  
邊邊林間ニ生ス

### 梗菜科

#### 山梗菜

「サハギ、ヤウ」水邊澤、  
地ニ生ス八月花開ク

桔梗 「キ、ヤウ」土音「ムケカシ」函館  
梗野當縁等ニ生ス八月花開ク

羊乳 「ツルニンジン」土音「ムツクイ」又  
「ムツ」山野陰林中ニ生ス七八  
月花開ク土人 札幌邊濕地ニ生ス日本産物志ニ形状大約羊  
乳ノ如クナレモ苗葉共ニ小ニシテ莖蛋圓ナ  
其根ヲ食ス

山小菜 「ホタルブク」又「ツリガ  
リ」花亦羊乳花ニ似テ小瓣五裂羊乳ノ如ク落ク反  
卷セス外面緑白色ニシテ網條ナク内面紫斑アリ

沙参 「ツリガ子」方音「ヌノバ」土音「チマアル」  
多ク山野ニ生ス土人放苗ヲ論テ乾シ貯テ羹  
ト爲ス一種海邊ニ生シ

杏葉沙参 「ドウシヤジン」又「マルバニンジン」  
山野陰地ニ生ス七八月花開ク

石南科

ツルコケモ 「アカモノ」土音「カタ」山中草皮中ニ生ス常緑小灌木ニシ  
テ傾臥鐵生ス葉ハ楕圓ニシテ卵ノ如ク背粉白色ヲ帯ヒ

周縁反卷ス梢頭ヨリ一或ハ二三ノ花梗直上ス其長一寸許毎頂一小花  
ヲ下垂ス花瓣四裂シ狀車輪ノ如ク終ニ變曲ス色淡紅實圓ニシテ十月

頃紅熟ス其味酸甘ナリ

越橘 「イハモ」又「コケモ」土音「ニギツケ」山頂或ハ岩間ニ生ス十  
月花開ク勝國大津内ニ多シ六月花アリ八九月開實紅熟ス其味酸甘ナ

スノキ 「スイバ」又「ウスノキ」渡島石狩等ノ山中ニ生ス小灌木ニシテ  
高一二尺ヨリ四五尺ニ至リ地ニ匍匐シ葉ハ卵ノ如ク楕圓

ニシテ殆ント柄ナシ頂微尖周縁缺刻鋸齒ノ如ク鋸齒ニ弱アリ葉背茸  
毛アリ五六月枝端ニ二三花ヲ落ク莖アリ開ク久カラスシテ落ク

山茶科 「リヤウ」渡島函館山中ニ生ス  
味酸甘食スヘシ葉亦酸味アリ

木藜蘆 「ハナ  
シラタマノキ」恵庭岳駒岳恵山熊ヶ岳等  
高山ニ生ス七月花開ク

ニシテ殆ント柄ナシ頂微尖周縁缺刻鋸齒ノ如ク鋸齒ニ弱アリ葉背茸  
毛アリ五六月枝端ニ二三花ヲ落ク莖アリ開ク久カラスシテ落ク

ニシテ殆ント柄ナシ頂微尖周縁缺刻鋸齒ノ如ク鋸齒ニ弱アリ葉背茸  
毛アリ五六月枝端ニ二三花ヲ落ク莖アリ開ク久カラスシテ落ク

ノキ「土音」ラビシヤ又「アイナシ」函館札幌厚岸三石  
山中ニ生ス枝葉俱ニ味辛辣之ヲ嗅ハ忽チ嘔ル  
ヒメシヤクナゲ

「ニツク」ワウシヤクナゲ「内」  
邊湿地ニ生ス五六月花開ク  
ヤウラクツ、ジ 幌泉禮文華山中ニコ  
生ス六月花開ク

ヤウラクモ 山中ニ生ス  
イハヒゲ 蕨庭岳其他高山絶頂巖石  
シロシヤ

クナンド 土音「リヤハムシ」様似禮文華等ノ山中ニ生ス高丈餘ニ過ス  
石南ニ似テ花白色且稍大ナリ莖背粉白色脚部ハ鈍圓或ハ

絹心臘ノ状ヲ成ス石南葉  
ノ鋭尖ナルカ如クナラス  
キバナシヤクナンド 聖金嶽其他高山ニ  
生ス小矮灌木ナリ

蕨ハ帶圓ニシテ本狭ク花ハ淡黄色枝頂ニ  
簇リ開ク花梗ニ絨毛アリ其長花ニ倍ス  
山躑躅 「ヤマツ、ジ」札幌  
其他山中巖窟ニ生

ス六月  
花開ク サハテラシ 「ロカゲツ、ジ」様  
似山道ニ生ス  
イソツ、ジ 「エソシヤクナゲ」  
又「ヒメシヤクナ

グ「樽前」恵山  
其他ニ生ス マツノキハダ 「ホツ、ジ」深山ニ生ス二種アリ一ハ剛壯  
直生シ枝頂ニ短穂ヲ出シ散花ヲ撰メ紅

並ヲ帶フ一ハ軟弱ニシテ斜上シ穂長  
クシテ花粗ナリ一花毎ニ莖葉ヲ有ス  
鹿蹄草 「イチヤクサウ」山中陰

札幌近山ニ散種ヲ産ス「ベニイチヤクサウ」コイチヤ  
クサウ「イチヤクサウ」ジンヤウイチヤクサウ等アリ  
細葉鹿蹄草 「ユメ

「ウ」又「カヌガサウ」高野樹陰ニ生ス七月花開ク一種「オホムメガサ、ウ」  
ト云フ者アリ樽前「シハノツ」等ニ生シ細葉鹿蹄草ノ如クニシテ剛強

葉ハ鏡ノ如ク露齒莖タ鋭ナリ  
花梗四七花ヲ撰メ其色肉色  
水晶蘭 「ギンリヤウサウ」又「ユウシヤ  
ウ」帯山溪様似其他深山陰地ニ

ス 生

岩梅科

フキヅメサウ 「イハム」樽前山函館  
山等岩石ノ間ニ生ス

豆兒科

水豆兒 「タヌキモ」函館札幌等池澤中  
ニ生ス七八月黄花ヲ開ク  
ムラサキミ、カキグサ 幌内邊  
谷地ニ

生ス「ミ、カキグサ」ニ似テ高僅ニ三寸莖ニ葉ナク鱗五六片  
互生ス莖頭一ニノ紫花ヲ開ク「ミ、カキグサ」ノ花ニ似タリ

櫻草科

クリンサウ 方言「シチカイサウ」山野陰濕  
ノ地ニ生ス五六月花開ク  
ユキワリサウ 様似山道ニ生  
ス五月花開ク

エゾノイハザクラ 「ニキワリサウ」ト共ニ生シ又同時ニ花開ク全形  
「カニコサウ」ノ如クニシテ缺刻「ゾダヤシ」ノ莖ニ似タリ唇内邊一

種「ハクサンコサウ」ト云フ者アリ土人ノ「サン」ト稱ス六月花  
亦「カニコサウ」ノ如ク圓ニシテ缺刻「ゾダヤシ」ノ莖ニ似タリ唇内邊一

開ク ヤナギトラノヲ 札幌函館等水傍湿地ニ生ス莖高一二尺葉背花  
梗共ニ軟毛アリ葉ハ無梗ニシテ狀披針ノ如ク

對生ス根本ノ數葉鱗片ヲ成シ葉面無數ノ細黑點アリ花ハ卵形ニシテ  
密穂ヲ成シ莖ノ中部ニ三對葉ノ腋間ヨリ出ツ萼瓣共ニ黑點アリ瓣五



六裂或ハ七裂單片細長 ツマトリサウ 札幌邊陰林中ニ生ス六月花開ク **珍珠菜** 「オカニシテ淡黄色ヲ帶ブ」  
 ノヲ山野ニ生ス **クサレダマ** 「イワウサウ」札幌邊陰濕地ニ生ス **コナスビ** 札幌邊陰濕地ニ生ス  
 六七月花開ク  
 六七月花開ク

**齊墩果科**

**ハンウンボク**

「オホバチシヤ」方言「ハビロ」土音「クウト」深山陰濕ノ地ニ生ス蛇田及ヒ様似山中殊ニ多ク其他所々ニコレアリ高二

三尺葉大ニシテ圓頭一尖或ハ三尖周縁粗刻ノ鋸齒アリ葉背絨毛アリ花枝端ニ著キ梗細ク成シ撥簇ス皆節頭ニ向テ開ク其形齊墩果花ニ似テ白色大ニシテ美觀ナリ材質堅硬粘力アリテ彫刻鑄器ニ宜シ土人小器具ヲ作ルニ多ク此樹及ヒ「イタヤ」等ヲ用フ

**狗骨科**

**アヲダモ**

土音「イワ」山中ニ多シ高三四丈ニ至ル葉ハ魚鱗ノ狀ヲ成シ小葉二三對生シ或ハ橢圓或ハ長圓披針ノ如ク頂細尖長二三

寸幅七分乃至一寸許周縁ニ鋸齒アリ實ハ漿果ニシテ長七八分形稍細長ニシテ少シク扁匙ノ狀ヲ成シ頂ニ微凹アリ木質白色密理ニシテ芽炭ニ供スヘシ土人女子ノ飾ヲナス此枝ヲ伐リ柱リテ薪ニ當テ即チ染ム又此樹生ニテ能ク燃ユル故ニ方俗土人ノ附木ト稱ス **ヤチ**

**ダモ**

土音「ベン」又「ビ」下濕ノ地ニ生ス高七八丈ニ至ル材質白色微黃正理粗澁堅硬ニシテ粘力アリ且ツ水ニ耐フ故ニ船艦ト爲

スヘク最モ樞樞ニ宜シ且ツ又農具ノ柄ト爲スヘシ其木理正ニシテ折キ易シ故ニ長杆ト爲シ垣ヲ結ニ宜シ **ハンドイ** 方言「カンバ」又「ド」スナラ「土音」ブ「ンガウ」界下陰濕ノ地ニ生ス葉小ニシテ高四五丈圓三四尺ニ至ル木皮眞樺ニ似テ粗ナリ長大ナルニ及ンテ裂シ白ク剝落ス葉卵圓ニシテ頂鋭尖下體較圓ナリ周縁細微毛ヲ帶ヒ柄アリテ對生ス六七月ノ頃梢上ニ長梗ヲ抽ク一尺許多ク枝梗ヲ分チ細白花ヲ撥簇ス香氣アリ形女貞花ノ如ク單瓣ニシテ四裂シ狀深斗ノ如シ萼ハ頗ル少ニシテ齒アリ雄蕊二個アリテ其下部瓣ノ基ニ著ス長サ瓣ニ倍ス後復果ヲ結フ長圓披針ノ如ク **オホバイボタ** 松前方音ニシテ稍扁ナリ種子ハ平扁ニシテ翼ヲ有ス **尾土音** 「リ」タン子水蠟樹ノ一種大葉兩頭尖銳ノ者ナリ多ク濕地ニ生シ高凡四五尺葉女貞ニ似テ冬月凋落ス六七月枝端總ヲ出ス枝アリテ小白花ヲ撥簇シ狀圓錐ノ如ク長一寸或ハ數寸ニ至リ一枝毎トニ苞ヲ附ス實水蠟樹ニ似タリ

**夾竹桃科**

**水甘草**

「チヤウジサウ」沃戸邊濕地ニ生ス七月花開ク **バンクルムン** 土音ナリ羅甸「ア」ボシナ

ニ生ス草本ニシテ且灌木ノ狀アリ直生シテ枝ヲ分ツ高四五尺葉ハ卵楕圓頭圓頭ニシテ微凸柄アリ對生ス花ハ梢ニ聚リ著ク數ノ如ク鐘形ノ數小花ヲ綴ル萼五裂狀披針ノ如ク粉茸アリ實ハ莢ニシテ一花ニ顆ヲ生ス長三寸餘皮ニ絲アリ莢タ強靱今土人用ル所ヲ知ラスト雖モ其土音アルヲ以テ考フレハ其用アルヲ知ルヘシ北亞米利加ニ同屬ノ者數種アリ皆纖維ヲ出ス該地土人ハ其皮ヲ以テ索繩其他ノ用ニ供ス

白前科

蘿藦

「ガ、イモ」土音「オヤ」子「山野ニ生ス七月花開」  
ク「藤皮中白絲アリ甚強ク釣輪ト爲スヘシ」  
野林中皆生ス土人常ニ根ヲ燒キ食フ其味甘美松前ノ俗藥トナス屬ノ  
諸病ニ用テ効アリ灰中ノ瓦礫ナリ土人何病ニテモ服用シ即効アリト  
云能ク酒毒及魚毒ヲ解シ又金創  
痰腫腫物ニ粘スルニ速効アリト

牛皮消

「イケマ」又「コサ」  
土音「ヌメ」山

龍膽科

石龍膽

「ハル」リシ「ダウ」又「コケ」リシ「ダウ」  
札幌邊樹陰ニ生ス五月花開ク ツルリンダウ 山中叢林ニ生  
ス八月花開ク エ

ゾノアケボノサウ

土音「ア」フシ「ベ」札幌邊濕地ニ生ス獺牙菜ノ如ク  
ニシテ長大又方莖ニシテ紫黒色ノ細斑點アリ

蕪律牙菜ニ似テ湖大且五

ハナイカリ

山中濕地ニ生ス 睡菜 「ミ」ツガシ「ハ」札  
幌邊アリア花實異ル「ナ」シ

ス六月  
花開ク

花荵科

ハナシノブ

札幌邊水傍陰地ニ多  
ク生ス六月花開ク

旋花科

藤長苗

「オ」ホヒル「ガ」ホ「土」音「ケ」ニ「山」野ニ  
生ス七月花開ク 紅白ニ種アリ ハマヒルガホ 「方」音「ア」メ「フ」リ「バ」

浪砂地ニ生ス  
六月花開ク

菟絲子

「チ」ナシ「カ」ツラ「札」幌邊河側ノ小柳艾其  
他ノ草末ニ纏ヒ寄生ス七八月花開ク

紫草科

スナビキサウ

「ハ」マ「ム」ツサキ「岩」内函館等ノ  
海濱ニ生ス七八月花開ク 紫草 「ム」ラ「サ」キ「多」ク「山」野「エ」

ライバブシ

土音ナリ又一名「ホ」ノ「イ」ノ「エ」ツ「ベ」又「カ」モ「キ」ナ「ヤ」方音「ハ」コ  
ク「サ」岩内紋別函館等海濱ニ生ス春末宿根ヨリ苗ヲ生シ

ア白綠色景天草ニ似テ其莖互生漸長シテ四布地ニ落テ莖莖ス七八月  
枝頭穂ヲナシ花ヲ開ク細粉色沙參ノ花ニ似テ小ナリ秋霜ヲ經テ枯レ

ス根ハ馬兜鈴ノ如クニシテ香氣アリ土 夕チカメバサウ 「ハ」カ「ハ」ミ  
人根ヲ採リ水浸シテ服シ腹痛ヲ治ス

札幌邊林中ニ生 才ホルリサウ 札幌函館等路傍及ヒ叢林  
ス五六月花開ク 中ニ生ス七八月花開ク ウリグサ

函館邊路  
傍ニ生ス

茄科

茄

「ナ」ス「ビ」窺政二年初テ白糠川等ニ種ニ豐部内  
ニ産スルモ殊ニ佳品ナリ今各地ニ播種ス 龍葵 「イ」ヌ「ホ」ノ「ツ」キ「土」

チ」又「エ」ト「レ」ワ「耕」地及ヒ 白英 「マ」ル「バ」ノ「ホ」ロ「シ」札幌  
路傍ニ生ス八月花開ク 戸函館等濕地ニ生ス 蜀羊泉 「ロ」ロ「ド」リ

札幌近山樹陰ニ生  
 ス七八月花開ク **馬鈴薯**「ジャガタライモ」又「ゴシロイモ」酸醬「ホト」  
 「子ウコマウ」札幌邊多 **イガホ、ヅキ** 方言「イシホ、ツキ」常  
 ク生ス七月花開ク 山溪札幌等ニ生ス **烟草**「タバ  
 政文化ノ頃試ニ東部山越内殿文華野田等ノ地ニ種ニ又東蝦夷地處々  
 土人ノ培植スルアリ成長可ナリ又札幌ニテ試ルニ成長可ナリト雖  
 其質下 **番椒**「ダウガラシ」方言「ナンバン」東蝦夷地ニテ種ニ作ル者雖  
 品ナリ 松前函館邊ニ種ルハ氣味甚猛烈ナリ土人中之レツ射  
 罔ノ加味トナ  
 ス者アリト云

立參科

**桐**「キリ」七重札幌小樽等へ移シ種ニ成長可 **ウンラン** 方言「キツチペンケ  
 ナリ日高國ニ自生アリト云最モ疑ハレ **山立參** 札幌函館等ニ生ス七八月花開ク **ミヅホ**  
 トマバキ「海濱沙地  
 ニ生ス七月花開ク **ノヅキ** 水邊濕地ニ生ス一體「オホメナ」ノミヅホ、ツキト云者札幌邊  
 短ク色黄「ミヅホ、  
 ツキ」ニ似テ大ナリ **草本威靈仙**「クガイサウ」山野ニ  
 ノツ「土音」レウカリキナ「札幌余 **ヒヨクサウ** 函館邊山麓陰地ニ  
 市其他ニ生ス七八月花開ク **馬先**  
**蒿**「シホガマギク」石狩管内其他海 **マ、コナ** 石狩河口邊ノ叢中  
 草叢中ニ生ス八月花開ク

蠅毒草科

**ハイドクサウ** 札幌邊林中ニ生  
 ス七月花開ク

馬鞭草科

**紫珠**「ミムラサキ」又「ムラサキ」キキ「フ」方言「コメノキ」多 **海州常山**「クサキ」土  
 ク函館邊ニ生ス七月花開キ十月實熟シテ紫色 **菫**「カリガ子サウ」又「ホカケ  
 アサ」山野共ニアリト雖而山足陰地ニ生スル **菫**「サウ」札幌邊叢林中ニ生  
 者殊ニ喬大高殆ト三丈ニ至ル八月花開ク

唇形科

**ヤマハクカ** 札幌函館等山野ニ  
 生ス七八月花開ク **テンニンサウ** 「イトカケサウ」札幌石山  
 陰地ニ生ス九月花開ク  
**香薷**「ナギナタカウシ」土音「エント」札  
 幌邊道傍溝中ニ生ス九月花開ク **薄荷**「ハクカ」又「メグサ」札幌邊界  
**地瓜兒苗**「シロ **イヌシロ子** 又「ロメシロ子」兩種共ニ札幌邊  
 水邊濕地ニ生ス七月花開ク **トウバ**

**ナミヤマトウバナ** 共ニ札幌邊山野陰地  
 ニ生ス七八月花開ク **風輪菜**「クルマバナ」札  
 ス七月 花開ク **爵牀**「イモカウシ」函館邊路傍 **排草香**「カハミドリ」土音「ムケカ  
 溝中ニ生ス九月花開ク

開紫蘇「シソ」天明寛政ノ時試ミニ長  
ク紫蘇 萬部ニ播ス今各地ニ種ユ

布森等ニ生ス 連錢草「カキドホシ」處  
七月花開ク 濠州夏枯草「ウツボクサ」多ク山  
路傍ニ生ス

花開 タツナミサウ 札幌邊濕地ニ生  
ス六七月花開ク ナミキサウ「ルリタツナミ」多  
ク原野竝ニ海濱

ニ生ス七 月花開ク ヒメダツナミ 札幌邊山足陰濕ノ地  
ニ生ス八月花開ク 鈴子香「ジヤカウサウ」土  
音「ムトカ」

ケヤ「札幌函館佐瑠等」イヌゴマ「チロロギダマシ」土音「キヨス」  
ニ生ス七八月花開ク ツ「叢林中ニ生ス七月花開ク 鑿菜「キ  
セ

ソタ「札幌邊路傍」續斷「オドリコサウ」札幌其 他路  
傍ニ生ス六七月花開ク カヒジンドウ「キ  
セ

パノジユウニロトエ多ク札 幌邊林中ニ生ス六月花開ク 金瘡小草「キラシサウ」札幌邊山  
中ニ生ス六月花開ク

車前科

車前「オホバコ」方言「マルゴハ」土音「エルムキナ」好テ道傍ニ生ス一種葉狭ク  
シテ毛計アル者アリ此「エソオホバコ」ト云者ナリ又一種大葉ノ者ア  
リ「唐オホバ  
コ」ナラン

雙子葉無瓣花

商陸科

商陸「ヤマゴボウ」方言「トウゴボウ」山野及  
ヒ耕地ノ側等ニ生ス八月花開ク

藜科

藜「アカ」灰藿「シロサ」土音「シロシキナ」札幌邊路傍  
及ヒ荒蕪地ニ生ス八九月花開ク ハマアカザ 土音「ヲタカ  
ウ」シノヤ」厚

岸海濱 地膚「ハ、キ」札幌松前  
ニ生ス 等荒蕪地ニ生ス ヲカヒジキ「ミルナ」方言「ハ、マ、ミ」土  
音「ヲタアンザ」多ク海  
濱砂地  
ニ生ス

苜科

雞冠「ケイ」雁來紅「ハゲイ」千日紅「センニチサウ」處  
庭園ニ移植ス 野苧「ノビエ」又「イヌ  
トウ」

蓼科

羊蹄「ギシギシ」又「ノダイソウ」土音「シユナバ」微濕ノ地ニ生ス雷道  
ノ産極テ肥大蛇田ノ土入秋後其實ヲ取り粥トナシ食ス 酸模「ス  
バ」又「スカンボ」土音「シユナバ」

各地皆アリ葉莖食スヘシ 蕭蒿「ニハヤナギ」又「ミチヤナギ」札幌邊林中  
及ヒ路傍ニ多ク生ス牛好シテ此草ヲ

食 藍「アサ」寛政ノ初試ニ浦河様似等 金線草「ミヅヒキ」原野陰濕ノ  
フ藍ノ地ニ種ユ今各地ニ耕種ス 馬蓼

「イヌ」サナヘタデ「ナツ」オホイヌタデ タニソバ ヌカボタ

デ 皆札幌邊濕地ニ生ス 苦蕎麥 「ミゾ」バ濕地ニ生ス八月花開ク 杠板歸 「イシ」ミカハ「土」雷「ウ」ン

河内ニ生ス マ、コノシリヌグヒ 札幌邊濕地ニ生ス ソバガツラ 札幌邊林中

地ニ 虎杖 「イタ」ドリ「函」館邊ニ生ス一種虎杖ニ似テ大高丈餘ニ至ル者

タル又「シ」ツク「フ」ト云フ葉潤大稍虎杖葉ニ似ルト雖モ葉本心臓ノ形ヲ

成シ背粉綠色早春芽ヲ生ス獨活ノ如ク赤色ニシテ美ナリ土人「レ」ワ

食ス其味酸淡又實ヲ取り貯ヘ魚油ニ和シ煮テ食ス其葉濕瘡ニ宜シト

莖ハ竹木ニ代用シ藩籬ト爲ス又一種峠ノ下邊ニ生スル者ニシテ葉稍

狭ク木截レ末尖リ背ニ灰白 蕎麥 「ソ」バ「寛」政二年初テ各地ニ移シ

色ノ軟毛ヲ密著スル者アリ 又山越内近傍ニ土人播種ス

瑞香科

ナニハツ

土音「エ」トハムシ多ク山野林中ニ生ス「オ」ニシバリニ似タリト 雖モ其葉較潤大且鉤頂ニシテ梢頭黃花ヲ擡簇シ香氣アリ内 皮以テ紙ヲ 製スヘシ カラスシキミ 「ヤ」マシキミ共ニ方言ナリ札幌邊山中陰地 至テ實熟ス圓ニシテ赤紅内皮以テ紙ヲ製スヘシ 蓋他道ニ云フ白瑞香「コ」セウノキナランカ

槲寄生科

槲寄生

「ヤ」ドリキ又「ホ」ヤ札幌邊樹及ヒ赤楊等ニ多ク寄生ス一種赤 實ヲ結フ者アリ形状槲寄生ニ似テナス唯莖實共ニ小ナリ

胡類子科

アキグミ

「カ」ハラ「グ」ミ方言「サ」ク「ミ」土音「ラ」マウケレニ 多ク河側叢林中ニ生ス土民實ヲ採リ食フ

樟科

クロモジ

方言「ト」リキレマ又「ト」リシバ「土」音「ク」ンチマ「ム」ラダチ「ア」 ンチ「山」中ニ生ス殊ニ岩山ニ多シ牙又ニ宜シ

馬兜鈴科

細辛

「ウ」スバ「サ」イレン「土」音「キ」サルベ「イ」宗谷ヨリ廣尾 至ルノ間山中ニ生ス氣味辛香藥用ニ宜シ

大戟科

草薺茄

「ア」ウルレ札幌邊山中陰濕 地ニ生ス六月花開ク 甘遂 「ナ」ツ「タ」ウ「ダ」イ「山」野陰 林ニ生ス六月花開ク ミヤマユ

ヅリハ

石狩國渡島國其他山麓陰地ニ生ス小灌木高三四尺ニ過ス單 幹ニレテ皮色黒褐ナリ葉ハ楠葉ヨリ較小其形或ハ長圓披針 形如ク或ハ倒卵披針ノ如クニ フツキサウ 「キ」チ「ビ」サウ「土」音「ユ」キ「ト」バ ンテ微ク尖ル楠ノ一種ナリ

中ニ生ヌ五  
月花開ク

### 岩高蘭科

#### 岩高蘭

土音「イフキマイマイ」根室厚岸地方湿地及ヒ其他山中岩石ノ罅ニ  
生ヌ常多ノ一小灌木ニシテ好シテ地上ニ個生シ長一尺乃至二尺  
ニ至ル五六月ノ頃淡紅小花ヲ梢ニ簇生シ花謝シテ後緑色ナル發果數  
個ヲ殘ヌ熟シテ黒色ナリ土人好シテ食ス其莖ヲ集メ蒸ヲ沸ヒ繭ノ絲  
口ヲ出ヌニ  
用フヘシ

### 蕁麻科

#### カラハナサウ

方言「ヤマホフ」土音「コサ」又「コレヤ」多ク山野ニ生ヌ宿  
根草之ナリ舶來「ホフ」ト同種ナリ土人根ヲ煮テ食ス

#### 大麻

「アサ」明治四年渡島國七重村ニ種ニ後札  
根其他各地ニ移ヌ土ニ適シ繁殖セリ  
山野ニ生ヌ石狩及ヒ釧路川上殊ニ多シ大ナル者ハ數圓ニ至ル材質堅  
硬ニシテ能ク濕氣ニ耐ユ土人皮ハ以テ舟トナス樹皮織テ布トナシ又  
繩索トナスヘシ然レモ頗ル「オヒヨウ」ニ如カス其布微赤色「オヒヨウ」ノ  
柔ニシテ強キニ及ハス此樹葉ヲ生ヌ方言「タモギタケ」土音「ツキサカル  
シ」ト云味美ナリ一種圓葉ノ者アリ枝幹俱ニ粗皮厚  
ク疊敷アリ之レヲ「チ」レ「タ」モ「ト」云深山中ニ生ヌ  
「ア」ニ「又」ア「チ」ニ「」又「ア」ニ「」山腹陰地ニ生ヌ高四丈餘ニ至リ枝  
梢四出シテ葉ノ枝ニ附タリ稠密ナリ葉ハ殆ト無梗ニシテ其形一様ナ

ラス倒卵形圓アリ卵楕圓アリ一尖アリ又三尖七尖ニ至ルアリ周邊  
重々鋸齒ヲ有シ面ハ糙澁多ク背ハ灰色加ルニ軟毛アリ四月下旬葉ニ  
先テ枝上各處ニ花ヲ著ク恰モ楡花ノ如ク唯較大ナリ通常五六花撰簇  
ス此樹皮柔韌土人剝テ水中或ハ湯泉ニ浸シ久シテ後刀ヲ以テ粗皮ヲ  
削リ裂キ結テ以テ布ニ織ル是  
「ア」ニ「」ト云土人ノ常服ナリ  
桑「ク」ハ「土」音「ア」シ「マ」ニ「又」ト「レ」ツ「」ニ「山」野  
峴別川上殊ニ多シ高五六丈其最大ナル者ハ渡島國楡山  
郡ニアリ材ハ器具ニ作ルヘク葉ハ以テ「」ヲ「」フヘシ  
楮「カ」ウ「ソ」又「カ」  
七重等ヘ移シ種  
ニ成長可ナリ  
オホバイラクサ 土音「モ」一「セ」又「ラ」ハ「山」野陰地ニ生  
長五六寸頭銳尖粗大ノ露齒アリ對生ス皮ヲ剝キ編ト爲ス最強韌土人  
以テ弓弦トス或曰莖葉共ニ毛刺アレハ赤手之ニ觸ル可ラス然ルニ若  
シ一草ヲ採リ先ツ兩手ニ摩擦スレハ再ヒ之ニ觸ル  
モ敢テ觸ラズ此其毒(蟻酸)ニ慣ルハ故ナラン  
ムカゴイラク  
サ 土音「カ」バ「イ」札「幌」邊  
山足陰地ニ生ヌ  
ミヅ 土音「メ」ラ「ム」ニ「陰」  
アカソ 越後「ア」カ「ワ」タ「南」部  
皮ニ絲アリ奥州ノ人織テ足袋及頭巾ト爲ス又越後ノ人秋月刈テ皮ヲ  
剝キ灰汁ニ和シ石上ニ投擲シ水ニ浸シ質上ニ置キ細竹ヲ以テ打碎キ  
綿トナシ布  
苧麻 「カ」ラ「ム」シ「又」マ「オ」寛政二年初テ模似  
子ニ著ク 禮文華ニ賦ム土ニ適シ生育宜シ

### 金粟蘭科

#### 及己

「フ」タ「リ」シ「ツ」カ「札」幌邊林  
中ニ生ヌ七月花開ク

#### 銀線草

「ヒ」ト「リ」シ「ツ」カ「山」足陰  
地ニ生ヌ六月花開ク

穀斗科

櫛 「カシハ」土音「ゴム」多ク山野陽燥ノ地ニ生ス其高「コナラ」方言「イシナ」各地差アリト雖平均三四丈トス屋材ニ適セス

枹 「コナラ」方言「イシナ」多ク山野原野ニ生ス高五六丈闊六尺ニ過ス葉ハ楕圓或ハ長圓披針ノ如ク有梗ニシテ長三四寸幅一二寸周邊鋸齒アリ葉脈平行シテ七對ヨリ

十二對ニ至ル薪炭ニ適シ又椅子水オホナラ 「ミゾナラ」土音「トシ」箱船櫃等ニ用ヒ又用テ香竈ヲ製ス

地ニ生ス高凡五六丈葉ハ殆ト無梗ニシテ倒卵ノ如ク又長圓ノ者アリ長五六寸許幅二寸乃至二寸五分葉頭尖銳納心脈ノ形ヲナシ周邊粗

大ノ鋸齒ヲ有ス鋸齒或ハ重齒ヲ有スルアリ葉脈直走シテ十一對ヨリ十七對ヲナス材ハ薪炭トナシ櫛ニ勝ル又曰ト爲スヘシ當道麥酒釀用

ノ樽桶等ハ多ク栗 「クリ」土音「ヤム」ニ夕張郡茅部郡等ノ産出最モ多シ川越

ク此材ヲ用フ内ノ如キ元來此木多キニヨリテ名ク大樹ナク「シバ」

リナリ實小ニシテ味頗美ナリ 山毛櫸 「イヌブナ」又「シロブナ」土音「セタン」山中ニ生

ニ渡島膽振兩國殊ニ多シ高七八丈ニ至ル材質微赤木理較疎ニシテ堅

硬粘カアリ巨蓋盆椀ノ類ニ多ク此材ヲ用フ又松籠家具材柴薪等ニ供

スヘシ土人巨樹ヲ割テ舟トナス實ヲ採リ煮テ食ス味ハ栗ノ如シ

或ハ實ヲ搾リ油ト爲ス此木ニ生スル菌ヲ「フナタケ」ト云大海アリ

シバ 「サハシ」山腹ヨリ以下較平坦ノ林中ニ生ス高五六丈ニ至ル葉

寸餘實亦「シ」ノ如クニシテ稍長大共ニ形「カラハナサウ」ノ實ニ類ス材

色淡褐質堅硬ニシテ輕ク諸物ニ用フヘク又薪炭トナシテ最モ宜シ香

ニ用フ ツノハンバミ 佐瑠勇拂札櫻其他山中ニ多シ高丈許赤葉ニ

先テ每節兩々葉花ヲ下垂ス長二寸餘鱗片

白毛アリ葉ハ卵形或ハ楕圓ニシテ葉木稍心脈ノ形ヲナシ頭尖リ包

葉相密著シテ附圓殼果ヲ被フ包頂長角ヲナス角ノ如シ故ニ名ク

山胡桃 「オニグルミ」土音「子シロ」好テ山野水濕ノ地ニ繁生ス石狩十勝ニ

諸器具ト爲シテ美ナリ又樹皮ヲ煎テ魚 陳倉胡桃 「ヒメグルミ」渡島

網ヲ染メ實(エヌ)ハ土人ノ食用ト爲ス 國山中ニ生ス

ハグルミ 「カハグルミ」方言「ヤス」土音「チベ」

樺木科

樺木 「シラカバ」シラカンバ」方言「ガシ」土音「キイ」タチニ山野ニ生ス根室管

内最多シ高五六丈ニ至ル樹皮横理ニシテ粉白色脂ヲ含ム多シ故ニ

土人火炬ノ料ト爲ス材ハ諸用ニ供ス就中匣箱樽桶等ニ宜シ又此樹ニ

生スル耳ワ「ア」ヘワツカルシト云ヒ引火ノ料ト爲ス一種「ウダイ」カンバ

ト云者 マカバ 方言「ヤチカバ」土音「タチニ」多ク山中ニ生ス石狩川上

アリ 易キニ似ス土人以テ屋ヲ葺ヒ又曲テ杯椀ヲ造リ其 サイハダ 方言「ク

他用ル所多シ蓋他道ニ云「ヨクソ」ミ子ナリナラン 山中ニ生ス樺木ノ一種高三四丈葉大長三寸ヨリ三寸五分幅二寸五分

較長大三寸餘ニ至ル者アリ帶ニ一極ヨリ二三個ヲ發  
 生ス材質密ニシテ滑澤ナリ器具ト爲シ又柴薪ニ宜シ **カハラハンノキ**  
 深山林中濕地ニ **ミ子バリ** 「ラノラレ」方言「アサダ」土音「キエルツ」山  
 生ス灌木ナリ 野ニ生ス材理美密堅硬ニシテ粘カアリ雪  
 車轡杖極 **赤楊** 「ハンノキ」方言「ヤチハンノキ」土音「ヤ、ンケ子」山野水濕  
 等ニ宜シ 地ニ生ス薪炭ト爲シ最モ可ナリ又湖水ニ耐ルヲ以  
 テ船艦ノ材ニ供ス内皮及ヒ **ヤマハンノキ** 方言「ハンノキ」土音「ゲニ」  
 實(ヤシヤブシ)ヲ染料トス 又「ゲボ」山中濕林中ニ生シ  
 高五六丈葉ハ潤クシテ卵圓頭尖リ木圓ク縁邊粗齒アリ莖背灰色ノ微  
 毛アリ長四寸幅三寸許木理滑ノ加ク色淡紅水濕ニ耐ヘス朽ルヲ速ナ  
 リ但薪炭ト  
 ナスヘシ

楊柳科

**オホバヤナキ** 山野陰濕ノ地ニ生ス高水楊ニ比スレハ稍大葉ハ長楕圓  
 披針ノ如シ長六七寸幅二寸三分餘頭尖リ縁ニ小齒アリ  
 面綠色背白色毛アリ六月葉莖花葉ト共ニ生シ數日ヲ過スシテ長スル  
 四寸許材質淡褐色ニシテ輕ク肌理微密殊ニ湖水ニ耐フ故ニ船材ニ適  
 ス巾箱及床間ニ **水楊** 「カハヤナギ」又「カハラヤナギ」土音「シユヤ」多ク河  
 用テ雅致アリ 岸ニ生ス大材少シ高キモノハ三四丈ニ過キス木  
 質白色ニシテ心部淡褐ヲ帶フ肌理稍密ニシテ柔軟ナリ其効用莖盤及  
 ヒ組板其他器具曲物等ニ用フヘシ近來又蠶木ニ用フ然ルニ白楊ニ及  
 ハス土人枝ヲ削テ花ヲナシ諸神ニ供ス是ヲ「イナワ」ト云北海道楊柳ノ  
 種類多シ其大小一ナラス或ハ數丈ノ高ニ至リ或ハ僅尺ニ滿タサル者

者アリ今コ、**ドロ** 「デロ」共ニ方言「ライニ」又「ヤイニ」全道皆アリ就中石狩  
 ニ一々セス 平原及ヒ勝振國勇拂川上流ニハ巨樹多シ其最モ長  
 大ノモノハ高七八丈樹幹端直ニシテ上段ニ性濕潤ヲ好ミ河岸陸地ニ  
 繁殖ス莖ハ倒卵長楕圓或ハ廣楕圓頭ハ微ク尖銳ニシテ扭振シ莖脚ハ  
 鈍圓ナリ縁邊粗齒齒アリ面ハ綠色ニシテ平滑背ハ白色ヲ帶フ葉柄長  
 シ花ハ雌雄各樹ヲ別ニス春葉ニ先テ開キ莖葉花ノ狀ヲナシ雄花ハ少  
 ク紅色ヲ帶ヒ形「ハコヤナギ」ノ花ニ似ル花粉ヲ倒出スル後久カラシ  
 テ縮落ス雌ハ莖葉花漸ク成熟シテ長七八寸ニ至ルアリ果實粗ニ花軸  
 ニ附キ熟スレハ四裂開展シテ種莢アル種子ヲ提出ス種莢ハ種子ノ梗  
 部ヨリ發出シ果中ニアリテハ種子ヲ套包シ出テハ其飛散ヲ助ク材質  
 ハ白色ニシテ柔軟ナリ近來蠶木製造ニ多ク此樹ヲ用フ箱篋類其他旋  
 製ニ用フ可シ往時ハ此樹ヨリ楊枝及白箸ヲ製セリ東夷物産誌ニ「ヤイ  
 ニ」ハ「ロロ」ノ土音ニテ軟木ノ莖、節ヲ「ヤイカ子」ト云カ如シト按ルニ其  
 樹矮短其形圓錐其質頗ル平滑ナルヲ以テ考ルニ「ドロ」棉ハ紡績ノ用ニ  
 供スルニ足ラサルヲ明ナリ然レモ坐蒲團或ハ椅墊ニ  
 充ツヘク或ハ印肉又ハ紙ヲ製スルニ用ヒテ可ナラン

裸子植物

松柏科

**赤松** 「アカマツ」又「ノマ」函館管下處々ニアリト雖モ皆移植ニ原ル昔ヨリ  
 全道自生ノ者アルヲ聞カス明治十三年開拓使地理課官員勇拂郡樺  
 前山下蝦夷松林中ニ混シ自生スル者數十木ヲ見ル高十  
 餘丈圍八九尺ノ者多シト按スルニ東蝦夷日誌亦同シ **五鬚松** 「ゴエ



ハ板ヲ作り、障子類ヲ製シ或ハ造船内張板トスシモフリマツ 高山頂

ト在ラサルハナシ高一二丈ニ過ス葉ハ五葉ニシテ五葉松ニ比スレハ

稍長ク且葉背頗ル白色ナリ松徳卵圓ニシテ長値ニ一寸餘鱗片硬厚且

ツ湖大ナリ片末ヲ除ク外皆黃褐色片末ハ少シク曲反シ附 落葉松

褐色ヲ帶フ種子ハ圓形ニシテ扁趨ナシ土人好シク食ス 及ヒ諸器具ニ供スヘシ此樹ニ生スル耳ヲエプリコト云松前人之ヲト

ウボシ、イラモミ 「ハリモミ」渡島國松 エヅマツ 土音「シユンク」深山中

ナルモノ高十餘丈圓丈餘ニ及フ木皮黒褐ニシテ稍赤色ヲ帶フ小枝硬

大密ニシテ長カラズ葉寸ニ足ラズ葉末尖リ面暗緑背灰色枝ニ著ク稠

密ナリ葉痕ノ凸出スルヲ殊ニ著シ實ハ長卵圓形ニシテ長二寸許常ニ

梢頭ニ著ク鱗片密疊ニシテ細弱ナリ頂少シク齒アリ材質白色ニシテ

中心淡褐ヲ帶フ肌理ト、マツニ比スレハ稍緻密ナリ又乾濕ニ過フテ

「トマツ」ノ如ク反張伸縮セズ故ニ船艦並ニ橋ニ宜シ又家屋ノ材ト爲

スヘトマツ 「フツ」山野高燥ノ地皆アリ然レモ山腹ニ在ル者最モ

皮青灰色ニシテ數歳ナシ小枝「エゾマツ」及ヒ樅ヨリ較纖弱ニシテ且長

シ葉長寸餘湖値ニ五釐ニ過ス面淺綠背灰白色葉末岐シテ二尖ヲナス

實ハ樅ノ實ニ似テ長二寸餘鱗片少シク斜方形ヲナシ硬厚ニシテ黒褐

色ナリ材質白色柔軟肌理疎潤ナリ家屋器材全道中第一トス然レモ此

樹ナリ木材ハ船艦建築其他所用頗ル廣シ ハヒ子ズ 土音「ヒシユンク」

似其他派 アラ、ギ 「イチサ」方言「オン」土音「タラマニ」處々皆在リ殊

邊ニアリ 似其他派 アラ、ギ 「イチサ」方言「オン」土音「タラマニ」處々皆在リ殊

ノ者ニ比スレハ較大ナリ最大ナル者北見國ニ産ス其間七尺許ニ及フ

ト云木理緻密ニシテ其色代緒ノ如ク漢土所謂淡古銅色是ナリ頗ル粘

カアレハ土人之ヲ弓材トス土人又此木ヲ櫛ニ製シ深銹色ヲ出サシ

ムルニ帆立貝ノ灰ヲ以テ煎ル甚タ妙ナリ此材鉛筆ノ用ニ供スヘシ 粗

榧 「イタガヤ」又「ホカヤ」方言「ヒヤウ」土音「ハナツ

ニ」山腹陰地ニ生ス實ヲ搾リ燈油ヲ製スヘシ

半夏 「カラスビシヤク」 虎掌 「ウラシマサウ」方言「ヘビ」ノ

「カ」ラ「ス」ビ「シヤク」 「ウ」ラ「シ」マ「サウ」方「ヘ」ビ「ノ」

ニ「土」人「搗」テ「水」飛「シ」粉「ヲ」取「リ」蒸「麥」葉「貝」母「粉」等「ト」合「シ」團「子」ト「爲」シ「食」ス

春秋ノ候根ヲ採ル 地湧金蓮 「サセ」ン「サウ」又「ダル」マ「サウ」土音「シケ」レ「ベ

單子葉植物

天南星科

半夏

「カラスビシヤク」 虎掌 「ウラシマサウ」方言「ヘビ」ノ

地湧金蓮

「サセ」ン「サウ」又「ダル」マ「サウ」土音「シケ」レ「ベ

觀音蓮

「ミ」ツ「バ」セ「ウ」方「ベ」コ「ノ」シ「タ」ハ「葉」ノ「狀」ニ「テ」云「ナ」リ「尤」肥「大

觀音蓮

「ミ」ツ「バ」セ「ウ」方「ベ」コ「ノ」シ「タ」ハ「葉」ノ「狀」ニ「テ」云「ナ」リ「尤」肥「大

觀音蓮

「ミ」ツ「バ」セ「ウ」方「ベ」コ「ノ」シ「タ」ハ「葉」ノ「狀」ニ「テ」云「ナ」リ「尤」肥「大

ナルハ葉ノ長三尺餘ニ  
及フ四月白花ヲ開ク  
ヒメカイウ 羅向名「カルラバラストリ」ス札  
イウニ似テ小ナリ葉心臓ノ如ク數個簇生シ葉間花ヲ出ス其形又「オラ  
シダカイウ」ノ如クニシテ小ナリ花精細圓末急ニ尖リ内面白色外面淡  
綠色ヲ帶フ花楨ハ長橢圓ニシテ小花ヲ密著ス  
上邊ニアル者即雄花下邊ノ者ハ兩性花ナリ  
白苧 「シヤウブ」石狩國  
リ七月  
花開ク

香蒲科

香蒲 「ガマ」土音「シキナ」札幌勇拂其他ニ生ス  
土人刈テ以テ「キナ」ニ編ム下品ナリ  
黒三稜 「ミクリ」方言「ガバ」水澤  
テ陰乾シ繩ニ作ル至テ強  
シ又莖ヨリ紙ヲ製スヘシ

眼子菜科

馬藻 「サ、モ」ヤナキモ「土音」トウ  
キナ「瀧濱流水中ニ生ス  
大葉藻 「アマモ」方言「ゴモ」海中ニ生ス其成  
長速ニシテ昆布ノ繁殖ヲ碍ル  
者ヲトリ麥ノ肥糞トス

澤瀉科

澤瀉 「サジオモ」カ又「ナ、ト」土音「ウクルキナ」又「トキナ」澤地ニ生  
ス又函館邊ニ水澤瀉「ヘラオモタカ」ヲ生ス七八月花開ク

蘭科

緣蟾蜍花 「クモキリサウ」山中陰地ニ  
生ス札幌嶽七月花開ク  
サイハイラン 札幌函館邊山中樹  
陰ニ生ス六月花開ク  
ク エビ子 山中多ク生ス  
コケイラン 「サ、エビ子」札幌函館  
チドリ 六月花開ク  
サウ 「テガタチドリ」山  
ツレサキサウ 山中陰濕ノ地ニ  
生ス七月花開ク  
ジンバイサ  
ウ 「ミツモラン」山中陰地  
ミヅトンボ 「アラサキサウ」山中濕地  
天麻 「オ  
ノヤガラ」土音「ウニ」テ多ク山  
野陽地ニ生ス土人根塊ヲ食フ  
トキサウ 山野濕地ニ生  
ス七月花開ク  
朱蘭 「サハラシ」  
又「アサヒ  
ラン」山潤濕如  
エズスラン 山野陽地ニ生  
ス七月花開ク  
綬草 「チヂバナ」モザヅリ  
多ク原野ニ生ス八  
月花開ク  
山珊瑚 「ツチアケビ」又「ヤマシヤク」ジ  
開クヤウ「渡島國大沼邊ニ生ス  
鬼督郵 「クマガヘサウ」山中  
樹陰ニ生ス七八月  
花開ク

鳶尾科

ヒメシヤガ 函館邊  
ニ生ス  
溪蓀 「アヤメ」土音「ヨウコケキナ」  
澤地ニ生ス七月花開ク

薯蕷科

北海道志 卷三十四 三十三

野山藥 「ヤマノイモ」方言「ジチンジヨ」土音「ワルコツ」  
又「チウリ」山野叢林ニ生ス土人根ヲ食ス 川算薺 「アルドコロ」  
土人成ハ燒キ或ハ蒸テ糲ニ充ツ

土茯苓科

牛尾菜 「シホ」札幌邊山野叢林ニ生ス 菘菜 「サルトリイバラ」函館  
ト 「タウチサウ」山 ハウチヤクサウ 札幌邊山野叢林ニ生ス  
ツバメオモ

邊林中多ク生 鹿藥 「ユキザ」土音「チユマレハル」山中叢林  
ス六月花開ク 菱薺 「アマドコロ」土音「エトラツチ」又「エトチ」山  
山野ニ生ス六月花開ク 王孫 「ツクバネサウ」多ク山野  
テ殊ニ肥大莖ノ長五六尺葉ノ長八九 王孫 「ツクバネサウ」多ク山野  
寸ノ者アリ是オホバナルコユリナリ エンレイサウ 「タチアフヒ」方  
中陰地ニ生ス五月黒紫花ヲ開ク一種白 林中ニ生ス又「クルマバ  
花ノ者アリ土人之ヲ「キマクナイ」ト云

ハ九菘ニ至ル數品アリ

百合科

車前葉山慈姑 「カタコユリ」又「カタクリ」土音「エシケツ」原野ニ生ス五月  
頃花開ク土俗花葉共ニ摘ミ植トナシ食ス土人根ヲ食料

トナシ又 粉ヲ製ス イトラブ 土音ナリ羅甸名「カギマル」ノチヤ「原野陽地ニ生  
ヲ出ス葉間莖ヲ抽ク六七寸ニシテ大小ニ葉ヲ對生ス葉際枝ヲ生ス  
ル三四毎頂一花或ハニ花ヲ著ク六瓣アリ披針ノ如クニシテ長四分許  
内面黄色外面ハ淡褐色ナリ 瀟湘 クロユリ 土音「アンライル」又「ハル」原  
セス土人根塊ヲ貯ヘ食料トス

食料ニ 充ツ クルマユリ 土音「ニコカイ」又「イマキア」山中陰  
シテ各地ニ種ニ能ク繁殖ス山中ニ一種 ハルノスカシユリ 土音「シヨ  
「ゴオニユリ」ト云者アリ土人其根ヲ食ス

蕎麥葉貝母 「ウバユリ」方言「シカユリ」又「ウバイロ」土音「ツ  
六月花開ク 道ノ産殊ニ宿大ナリ花ヲ著ル八九土人根ヲ束子聯乾  
シテ食ニ充ツ又搗テ餅ト爲シ食ス必需ノ食料ナリ 綿棗兒 「ツルギ」  
ダイガサ」土音「セタトマ」ホ 胡葱 「エンゾ子ギ」土音「シクツ」原野ニ生ス初夏  
レンリニム地方ニ生ス 紫花ヲ開ク土人根葉ヲ採リ到乾シ餅

トシ又水飛騰乾シ以 茗葱 「ギヤウジヤニン」ク方言「キトビル」又「アイバ  
テ冬居ノ糖ト爲ス 根ハ頗ル堅クシテ且ツ臭氣甚シ土人服シテ寒濕ヲ防ク 山蒜 「ノビ  
開ク土人根ヲ搗キ餅トナシ貯フ又葉ハ乾テ糲ト爲シ食ス

葱 「ニギ」タマ子キ 洋葱札幌七重等ヘ移植 金萱 「ヒメクソンザウ」三  
草 「ワスレダサ」土音「エイハツホウチ」イハギバウシ 潮路村邊磯地ニ  
札幌邊原野ニ生ス六七月花開ク

生ス八月花開ク

オホバギバウシ

土音「ワクリキナ」濕地ニ生ス七月花開ク

粉條兒菜

「シヤウジヤウバ」カマ石狩國陰濕

ノ地ニ生ス五六月花開ク當道ノ産僅ニ五花ヲ以テ房

ノギラン

「原野」開地ニ生

藜蘆

「シユロサウ」又「ニツク」ラウラニ土

蒜藜蘆

「バイケイ」イサウ

「方音」オホハ「土音」リラレダホ、多ク下濕ノ地ニ生ス六七月花開ク根ニ「ベレトリヤ」ト稱スル劇烈ナル毒質ヲ含ム細末ニシテ以テ殺蟲劑ニ用ヒ最妙ナリ

燈心草科

ミヤマヌカボシ

函館札幌等林中陰地ニ生ス

地楊梅

「ス」ノヒ」原野ニ生ス

燈心草

「井」原野下濕及

池澤ノ傍

石龍芻

「コロ」下濕及水邊ニ生ス

カウガイゼキシヤウ

札幌邊下濕ノ地ニ生ス

莎草科

水毛花

「サンカク」井渡島國葦菜沼ニ生ス

蒯草

「アブラガヤ」札幌邊濕地ニ多ク生ス

ハリ井

下濕ノ地ニ生ス一種「オホハ

者アリ

ガウソ

山中濕地ニ生ス

節草

「カウバウムギ」又「ハマムギ」土音「ルウ」者アリ

カウバウシバ

岩内函館邊海濱ニ生ス

タヌキラ

陰濕ノ地ニ生ス

タニス

「カハ」ラカス

グ濕地ニ生ス

カサス

多ク札幌邊濕地ニ生ス

シバ

「ロメヤ」プスグ「札幌邊路傍ニ生ス

禾本科

粳

「ウルゴ」古來蝦夷地米ナシ元祿五年東部戸切地ニ初テ墾田シ試ニ播種ス秀實アリ天明八年室蘭浦河様似地方ニ種ニ爾來各地ニ播種スト

雖而南東稍ヤ溫和ノ地方ヲ除クノ外其氣菰「マコモ」方言「マクゴ」又「シ」候ニ適セサルヤ未タ充分ナル收穫ヲ見ス

又「カンサル」多ク池澤中ニ生ス

玉蜀黍

「タウモロコシ」ナンパンキ「明治」以降洋種數品ヲ移ス皆能ク地ニ適シ繁殖ス

ヨシ

札幌邊濕地ニ生ス又耕地ニ生シ其根刈盡シ難シ

茅香

「カウボウ」函館邊其他山野ニ生ス

看麥娘

「ス」メ

ボウ「耕地」

イブキヌカボ

札幌邊山足濕地ニ生ス

稭

「ロ」天明八年初テ東地長萬部白糠其他各地ニ播種ス土人亦

播種シ糧食ノ不足ヲ補フ

狗尾草

「エ」ノコ「オホアハ」又「ゲアハ」古ヨリ東西地方ノ

梁

土人種テ食糧ニ充ツ寛政二年原胤敦之ヲ白糠ニ種ニ適シ

培養セシテ收穫アリ

狼尾草

「チカラシハ」函館邊路傍ニ生ス

子ヅミガヤ

「ウシ」ガヤ

札幌邊山

藍

「ヨシ」土音「キシ」リ又「シヤリ」多ク山野濕地ニ生中ニ生ス土人以テ屋ヲ覆ヒ又編テ席トナシ屋内ニ布ク

ハマニ

ンニク

「テン」キ「土音」ムリ「チ」又「ヘイ」エ「キ」ナ「海濱」ニ生ス土人此草ヲ以テ席ヲ織ル又袋ニ製シ懷中物ヲ入ル

スバメノ

カタビラ

路傍ニ生ス

コメガヤ

多ク札幌邊山中ニ生ス

苗草

「ミノゴ」札幌邊原野濕地ニ生ス

サカ

**ボカヤ** 「ハジカヘリ」札幌邊  
 尺ヨリ丈餘ニ及フ蕪湖ニ寸餘長九寸許鹿好ヲ食フ又東海岸雪ノ地  
 ニテハ冬月野飼ノ牛馬ニ缺クヘカラサル飼料ナリ土人實ヲ「カムイア  
 マ」ト云食料ニ充ツ一種根竹ト云フ者アリ後志國根竹ニ産ス一名  
 「ベッコウチク」土人「シリキトツ」ト云フ文竹ノ莖ナリ莖ニ紫色ノ斑ア  
 リテ美ナリ以テ筆  
**小麥** 「コムギ」寛政二年原新介初テ船川ヘ播種シ收穫  
 管煙管ヲ造ルヘシ  
**大麥** 「オホム」同上  
**芒** 「ス」山野ニ生ス  
**蜀黍** 「モロコ  
 キ」寛政二年初テ  
 東部各地ニ播種ス

陰花植物

石松科

**タウゲシバ** 土音「トイシシ」山中陰地ニ生ス  
**玉柏** 「萬年スギ」土音「チコシセ」深山陰地ニ生ス  
**アスヒカ**

**ヅラ** 樽前其他高山  
**石松** 「ロカゲノカヅラ」深山陰地ニ生ス

木賊科

**問荊** 「スギナ」ツクツクシ  
**木賊** 「トクサ」土音「セビセビ」山  
**ミヅトクサ** 小流  
 土音「ラサセビセビ」野水邊或ハ葎林ニ生ス

池澤中ニ生ス

羊齒科

**カウヤワラビ** 「セシマイシダ」原  
**クサソテツ** 「ガンソク」多ク山  
**イハテ**

**シダ** 函館邊  
**コケシノブ** 山中樹陰  
**過壇龍** 「クジヤクシダ」山  
**蕨** 「ワラビ」  
 土音「ソ」

ノ産大ニシテ柔軟他産ニ勝レリ  
**シ**、**ガシラ** 山中ニ  
**ヤマソテツ** 方

「コノミ」又「コノメ」土音「ソセマ」多ク山野陰濕ノ地ニ生ス一  
 根ハ「オニシダ」ノ如ク黒色ニシテ硬堅ナリ春月其頂部ヨリ數莖ヲ叢生  
 シ其狀怡モ鐵蕪ニ似タリ故ニ  
**鳳尾草** 「トラノワシダ」札幌  
**コタニワ**

名ク土人苗ヲ採リ餅キ食フ  
**タリ** 山腹陰地  
**ミヤマイノデ** 共ニ札幌邊山  
**ジウモンジンダ** 中陰地ニ生ス

**水龍骨** 「アワチカヅラ」札幌  
**イハヤツメ** 札幌  
**イハオモダカ** 札幌

中樹皮ニ  
**薇** 「センマイ」土音「トバ」又「トハ」常  
**瓶爾小草** 「ハナヤスリ」札幌  
 邊陰濕ノ地ニ生

著キ生ス  
**陰地蕨** 「ハナワラビ」原  
**蕨** 「ナツノハナワラビ」札幌  
 野濕地ニ生ス  
**蕨** 札幌邊深山陰地ニ生ス

**芝栢科**

香草 「シロタケ」地ニ生スル者ヲ土人「ベロカルシ」ト云ヒ「オホナラ」ニ生スル  
ハ味ロ 「ラ」トシ「カルシ」ト云大ナル者若笠ノ如ク殊ニ厚ク尋常ノ者ニ比スレ  
美ナリ **落葉松耳** 土音「エブリ」松前方音「トウホシ」土音「シウカルシ」蝦  
夷及ヒ樺太樺提諸島落葉松及ヒ蝦夷松ニ生ス其形  
塊ヲナシ朽木ノ如クニシテ灰色味微苦ニシテ甘酸ヲ帯ヘリ土人  
以テ腹痛眼病ヲ治ス効驗アリ樺提ニ生スル者ヲ以テ上品トナス **榆草**  
「ニレタケ」方言「タモギタケ」土音「ツキサニカルシ」深山茂林中櫛櫛ノ腐爛  
スル者ニ因シ得テ生ス狀葉ニ似テ葉生ス淡黄色肉厚ク味ロ脆美  
上タリ **栗茸** 「ヤムカルシ」輕虚ニシテ粉 **ケ子カルシ** 赤楊ニ生スル  
アヘヲクカルシ 一名「タツツ」子カルシ「樺木」ニ生スル硬木耳ナリ其  
ヲ用ヒ火煤トス故ニ **題頭菌** 「マロタケ」秋月深山樹下ニ生ス狀大小唇  
「アヘ」ノ名アリ 蓋黒ク莖白キ者ハ味最 **ヲチコツカルシ** 六七月ノ際原野叢生中ノ  
佳ナリ香味香覃ニ亞ク 佳ナリ濃州ニ所謂「カヤ **トベニカルシ** 「イタヤ」ノ林中成ハ樹上ニ生  
タラ甘ノ類ナルヘシ 面緒 **ワカタイ** 松前ノ方言ナリ秋末「ブナ」樹ニ生ス形色稍莖菌ニ類シ  
褐色 其柄偏付ス皮硬シ其皮ヲ剥キ煎食ス故ニ仙臺ノ人「ム  
キタケ」ト云又扁ナルヲ以テ「ヒラタケ」ノ名アリ松前ノ **木耳** 「キトラゲ」接  
俗「アメモマス」又「クストル」トモ云土人夏月ノ常食トス 網走山中  
ニ多シ

**昆布** 「コンブ」ヒロメ「土音」シガ子「夏月刈乾シ販賣スルニ其品差等アリ海底  
岩石ニ生シ年ヲ經テ長五六尺幅五六寸ニ至リ赤色ヲ帯ル者ヲ上品  
トシ又赤色ナク厚キヲ其次トシ赤色多キハ又其次トス幅尺餘長三丈  
ロリ五六丈ニ至ル者アリ是ヲ大昆布ト云又其次トス其他生スル處ノ  
地ニヨリ管惡差等アリ東部ノ志普 **海帶** 「ホソメ」昆 **ニノミ** 厚岸土音「ナ  
浦河三石等ヨリ出ス者ヲ名産トス 布ノ一種 **裙帶菜** 「ワカ  
コモ」又「チンム」ト 云度ニ三分長丈餘 **黒菜** 「アラ **ウミソウメン** **鶏脚**  
「トサカ **石花菜** 「トコロア **紫菜** 「アサクサノリ」岩ニ懸レ  
ノリ」 **鹿角菜** 「フ

ニ多シ

ニ多シ

ニ多シ

ニ多シ

ニ多シ

ニ多シ

ニ多シ

ニ多シ

ニ多シ

ニ多シ

ニ多シ

海藻科

礦物 政治部採  
鑛ニ出ス



